

平成18年度
大阪大学附属図書館
年次報告
自己点検評価報告書

目 次

凡 例

1. 部局年度計画（図書館）達成状況及び自己評価	1
2. 図書館サービス	
2-1. 開館の日数・時間	7
2-2. 入館者数	7
2-3. 貸出サービス	8
2-4. 利用者教育	9
2-5. 目録情報サービス（OPAC）	10
2-6. 電子情報サービス	11
2-7. 館内文献複写サービス	15
2-8. 学内相互貸借	15
2-9. 図書館間相互貸借（ILL）	16
2-10. 広報活動	17
2-11. 公開事業	18
3. 情報基盤の整備	
3-1. 蔵書とその配置	19
3-2. 資料の整備	20
3-3. 目録情報の整備	22
3-4. 施設の整備	22
4. 管理運営	
4-1. 図書館組織及び職員	24
4-2. 委員会・諸会議	27
4-3. 能力開発（研修会等への参加）	33
4-4. 図書館経費	34
4-5. 規則・制度	36
5. 資料	
5-1. 最近の図書館の活動状況	37
5-2. 統計表	39

凡 例

1. 収録及び分析対象期間について

原則として、平成18年度の活動状況をまとめた。

ただし、サービス対象者数に関する部分は平成18年5月1日現在で記している。

2. 図書館（室）の区分について

（1）「本館」には、文学部・文学研究科、法学部・法学研究科、経済学部・経済学研究科、理学部・理学研究科、基礎工学部・基礎工学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、高等司法研究科、保健センター、大学教育実践センター、社会経済研究所、総合学術博物館、太陽エネルギー化学研究センター、極限量子科学研究センター、工作センター、金融・保険教育研究センター、コミュニケーションデザインセンターの研究費による購入分を含む。

（2）「生命科学分館」には、医学部・医学系研究科、歯学部・歯学研究科、生命機能研究科、医学部附属病院、歯学部附属病院の研究費による購入分を含む。なお、表示欄が小さい場合は「生命」と省略した。

（3）「吹田分館」には、工学部・工学研究科、情報科学研究科、接合科学研究所、レーザーエネルギー学研究センター、核物理研究センター、サイバーメディアセンター、留学生センター、超高压電子顕微鏡センター、ラジオアイソトープ総合センター、環境安全研究管理センター、生物工学国際交流センター、先端科学イノベーションセンター、低温センターの研究費による購入分を含む。なお、表示欄が小さい場合は「吹田」と省略した。

（4）「その他」は、人間科学研究科、薬学研究科、微生物病研究所、産業科学研究所、蛋白質研究所の各図書室の合計をいう。

（5）なお、全学を「本館系」「生命系」「吹田系」に3区分している統計がある。

「本館系」には、上記「本館」に人間科学研究科図書室分を、「生命系」には、上記「生命科学分館」に薬学研究科、微生物病研究所、蛋白質研究所の各図書室分を、「吹田系」には、上記「吹田分館」に産業科学研究所図書室分をそれぞれ加算している。

1. 部局年度計画(図書館)達成状況及び自己評価 (1)

項番	年度計画 (項目名)	18年度部局年度計画	18年度達成状況	自己評価
			IV: 年度計画を上回って実施している III: 年度計画を順調に実施している II: 年度計画を十分実施していない I: 年度計画を実施していない	
51	教育支援環境の整備	1) 引き続き参考質問の電子的受付を行う。	1) 本館、分館で電子メールによるオンライン調査依頼174件につき回答を行った。(平成17年度は98件)	III
		2) 文献の学内外への電子的な送受信サービスを著作権の範囲内で実施する。	2) 生命科学分館を中心に、電子的文献送受信システム(DDSシステム)により、1,452件の送信サービスを実施した(平成17年度、1,570件)。また、吹田分館を中心にWEBによる学外ILL申込を351件受け付けた。(平成17年度、141件)	
		3) 吹田地区の図書館資料の搬送システムを整備する。 また、全学的な図書資料搬送システムの整備を図る。	3) 平成19年度からの図書館事務組織再編の基盤となる全学的な資料搬送システムについて、実施に向けて仕様を検討し、業者と契約の準備をしている。	
		4) 重複図書、破損した図書、利用度の低い図書について不用決定の進めを進める。	4) 本館では書庫内重複図書を中心に10,834冊について、4月の図書館委員会で不用決定が承認され、6月に除却処理を実施した。豊中地区運営委員会で不用決定基準の運用見直しについて審議、了承され、今後は新しい方針により重複処理の不用決定を行うことになった。生命科学分館では重複資料5,727冊を不用資料候補としてリストアップし、不用決定を諮る予定。	
		5) ブラウジング用雑誌の最適化を図り、タイトル見直しを行う。	5) 本館では引き続きタイトルごとに保存状況、所蔵状況を調査中。図書館関係外国雑誌は調整済み。生命科学分館、平成15年度に大幅見直しを実施し、吹田分館でも平成15年度に資料選定小委員会で審議・承認を得た見直しの方針により継続購入している。	
		6) 自然科学系、人文社会科学系の広範囲にわたる文献情報データベースを整備し、学内に提供する。	6) 昨年に引き続き、附属図書館データベース検索システムにより、以下のデータベースを有料(利用者課金制)で提供している。 Medline, CINAHL, 医学中央雑誌(医学系)、SciFinder Scholar、CrossFire(化学系)、Science Direct Navigator、SCOPUS(理工学系中心)、PsycINFO(心理学)、ERIC, Index to Legal Periodicals、EconLit、MLA(人文・社会系)、Books in Print、Ulrich's、Dissertation Abstracts(総合)、Web of Science(SCI)、JCRWeb(自然科学全般) BOOKPLUS、MAGAZINEPLUS等のデータベースを図書館ホームページ等を通じて無料で提供している。平成18年度から新たに聞蔵(朝日新聞記事)、Cochrane Library(臨床医学)、CA on CD(化学系)を無料データベースに加えた。また、高額参考図書予算で購入した「朝日新聞戦前紙面データベース」等の新聞・雑誌データベースについて、引き続き学内にネットワークを通じて提供している。 平成19年度から、サイバーメディアセンターの汎用コンピュータシステムで新たに導入するWeb of Scienceの人文・社会系データベースSSCI及びA&HCIを正式サービスすることが決定し、12月からトライアル利用が可能となっている。1月の電子図書館専門委員会においてデータベースの見直しを行った結果、利用頻度の少ない、Books in Print、Ulrich's、Dissertation Abstractsを18年度限りで中止し、代わって総合データベースCinii、JDream II、LexisNexis Academicを19年度より新規に導入し、無料提供する方針を決定し、図書館委員会の審議・了承を経て実施することになった。	
		7) 主要出版社の電子ジャーナルの契約を維持し、本学における学術研究活動のための基本的情報源として全学に提供する。	7) Elsevier, Blackwell, Springer, Wiley, Oxfordなど主要出版社をはじめ、各分野の代表的な電子ジャーナル、合計約7,000タイトルを契約した。この他に無料の電子ジャーナルを含めて約10,000タイトルを図書館ホームページから提供している。来年度に向けて電子ジャーナル経費の全学経費化の要求とE-only化を図る図書館委員会で審議し、方針を決定した。図書館の検討を受けて財務委員会で19年度の全学経費拠出額の増額を決定し、主要出版社の契約をE-onlyに移行する前提で平成19年度の雑誌予約及び電子ジャーナル契約を実施した。 生命科学分館では現在シングルアクセス契約のNature関連誌電子ジャーナルのサイト契約化を推進。来年からResearch誌の全学経費負担化、Review誌の分担金によるサイト契約への移行が確定。9月から試行導入開始。新規創刊のProtocolも導入。分担金によるLWW Print Retain Fixed 100の導入も決定した。	
		8) 図書館WWWサイトを整備し、広報や各種利用者サービスの窓口としての機能を充実するとともに、利用者教育及び情報発信機能の強化を図る。	8) 電子ジャーナルに関するリンク集を整理し、新たに大阪大学関係出版物に関するウェブページを作成。生命科学分館ではWebによる学外ILL申し込みサービスを提供開始した。吹田分館ではホームページをリニューアルし、最新ニュースやお知らせなど利用者への広報を随時実施した。	

1. 部局年度計画(図書館)達成状況及び自己評価 (2)

項番	年度計画 (項目名)	18年度部局年度計画	18年度達成状況	自己評価
			IV: 年度計画を上回って実施している III: 年度計画を順調に実施している II: 年度計画を十分実施していない I: 年度計画を実施していない	
51 (続)		9) 生命科学分館の電動集密書架の増設を要求する。また、本館の自動書庫導入を含めた将来的な保存・配架計画を検討する。	9) 生命科学分館の電動集密書架増設を含む「図書収容力の確保」を、平成19年度予算要求事項案の項目の一つとして図書館委員会に提案、了承された。	
		10) 図書館内の電子情報サービス用機器(OPAC、マルチメディア端末、データベース用端末等)の充実を図る。	10) 3月末の図書館業務システム及び電子図書館システムのリプレイスにより、OPAC端末40台、マルチメディア端末55台を最新機種に更新し、利用環境を改善した。 本館では利用者用パソコンの機能を再検討し、2台のパソコンの機能を向上させることにより、一部の動作の遅かったCD-ROMデータベース(Index of Islamics, Der Brockhaus multimedia)の反応時間を改善した。本館及び吹田分館では、12/14から大阪大学全学無線LAN試行サービスの提供を開始した。生命科学分館では使用不能となっている機器(利用者用パソコン1台、プリンタ1台)を撤去した。	
		11) 図書館報、カレントニュースなどにより図書館からの広報を実施する。	11) 図書館報を2号発行した。また、図書館速報誌であるカレントニュースを11号発行し、紙媒体ばかりではなく、Webにも掲載した。(17年度は3号発行)	
		12) サイバーメディアセンター汎用コンピュータシステムとの共同調達により、図書館業務システムの更新を実施する。	12) 前年度に引き続きサイバーメディアセンターの仕様策定委員会に図書館から出席し、汎用コンピュータシステム仕様書の図書館関連部分を担当、図書館業務システムその他、ゲートウェイシステム、電子図書館機能の仕様についても作成に協力した。6月末に仕様書を確定、入札公告実施し、10月に開札、受注業者が決定した。10月より受注業者とカスタマイズ、業務移行について具体的な打ち合わせを行い、3月20日までに旧機器の撤去と新機器の展開、3月23日までに全データの移行を終え、3月25日より新システムが稼働した。	
		13) 図書館利用者のためのオリエンテーションなどを引き続き実施する。	13) 本館では以下のオリエンテーションを実施した。 ・新入生のための図書館利用オリエンテーション(4/13-18,4回 460名) ・短期留学生のためのオリエンテーション(9/27、50名) 生命科学分館では以下のオリエンテーションを実施した。 ・医学系研究科医科学専攻修士課程及び医学博士課程新入生ガイダンス「図書館の利用方法」(4/5 約100名) ・日本語研修生等オリエンテーション「図書館の利用方法」(4/19 21名) ・日本語研修生等オリエンテーション「図書館の利用方法」(10/18 26名) また、下記のオリエンテーションを新たに実施した。 人間科学研究科修士課程・博士課程留学生ガイダンス「図書館の使い方」(4/25 20人) 吹田分館では以下のオリエンテーションを実施した。 工学部地球総合工学専攻4年生および同研究科修士・博士課程新入生ガイダンス「図書館の利用方法」、「OPAC検索方法」(5/8 34名)	
		14) 吹田分館では資料配置の見直しと配架・移動などの整備を行う。	14) 吹田分館では旧館2階配架の「吹図開架図書」約6,000冊と「吹図文庫新書」約8,000冊の配置を見直し、配架場所の移動を実施した。新館1階(洋雑誌)書架狭隘により、配置を見直し抄録類等約6,500冊の移動を実施した。また、参考図書約400冊を整理し配架見直しを実施した。	
		15) 学生、大学院生のためのカリキュラムに沿ったシラバス記載学習用図書の整備を引き続き実施する。	15) 昨年に引き続き重点予算の配分を受けて学生用図書を整備。本館ではシラバス掲載図書の再調査を行って未購入図書を重点的に購入し、分館と併せてシラバス掲載図書868冊を購入した。(17年度約200冊)	
	16) 学科図書室からの公用貸出返却図書(「移管図書」)の搬入、再整理を実施する。	16) 本館で公用貸出返却図書14,331冊の搬入、再整理を実施した。また、本館書庫棟の研究用図書90,000冊以上について、蔵書点検(バーコードラベル展開・出力・貼付含む)、重複調査等の作業を行った。(17年度点検冊数約80,000冊)		

1. 部局年度計画(図書館)達成状況及び自己評価 (3)

項番	年度計画 (項目名)	18年度部局年度計画	18年度達成状況	自己評価
			IV: 年度計画を上回って実施している III: 年度計画を順調に実施している II: 年度計画を十分実施していない I: 年度計画を実施していない	
51 (続)		17) 竣工後35年を経過し既存不適格建築物となっている、吹田分館旧館の耐震改修及び新館を含めた全面的改修を行うことにより、安全で快適な学習図書館環境の改善及び情報スペースの整備、並びに電子情報サービスの拠点としての情報拠点図書館及び吹田地区共通資料共同利用センターの構築を策定し、概算要求を行う。	17) 昨年度提出した平成19年度概算要求に対して、第2次国立大学等施設緊急整備5か年計画に基づく調査があり、個別事業評価シート及び改修後平面計画を提出した。	
		18) キャンパスを超えた図書館サービスの向上のため、図書の返却方式の改善をさらに進める。	18) 従来は貸出図書は利用者が借りた図書館でしか返却ができなかったが、平成16年度に教員を対象に吹田・豊中キャンパスのどちらでも返却ができる方式を導入、引き続き実施している。また、19年度より返却サービスを拡大し、全利用者が全学の図書館8館室のどこにでも返却ができるサービスを実施することを決定し、準備を進めた。	
53	各部局等における自己評価の準備および実施	1) 自己点検評価を実施し、年次報告書を作成する。	1) 年次報告を作成、図書館ホームページより公開した。	II
		2) 外部評価を実施する。	2) 外部評価に備えた準備作業として評価基準の見直し、年次報告の形式見直しを行ったが、評価の実施には至らなかった。	
61	学内情報処理基盤の確立	1) 利用者への情報リテラシー教育をさらに推進する。	1) 全学共通教育科目「情報活用基礎」の文学部3クラスの講義の1コマにおいて、図書館職員が図書館利用法を説明した(5/23 205名)。また、大学教育実践センターと協議し、平成19年度は同講義の全学部全クラスでの実施を行うことになり、図書館内にワーキンググループを設置して準備を進めた。 その他に、本館では以下の利用者教育を行った。 ・データベース利用説明会 (INSPEC、Scopus)を行なった。(12/18 8名) 生命科学分館では以下の教育活動を行った。 ・データベース検索を主内容とする講義・講習8件 ・医学研究科保健学専攻博士前期・後期課程新入生(4/5 97名) ・歯学研究科博士課程新入生(4/12 13名) ・医学部附属病院看護師「卒後3年研修」(5/17、5/23 45名) ・医学部附属病院看護部キャリア開発センター「看護研究コースⅠ」(6/10 31名) ・生命機能研究科博士課程新入生(6/29 18名) ・医学系研究科博士課程1年次(6/30 75名) ・医学部保健学科看護学専攻3年次(7/19、7/26 85名) ・論文の引用頻度とインパクトファクターの調べ方(希望者を対象に実施)(12/19、1/10 112名) レファレンス・カウンターでの少人数講習(人間科学研究科修士1回生など)及びレファレンス・カウンターでの相談活動 約300回 吹田分館では以下のデータベース利用説明会を行なった。 ・「CrossFire」利用説明会(2回、4/28-4/29 114名) ・データベース「INSPEC」利用説明会(12/14 10名)	III
	2) サイバーメディアセンターで行われる情報リテラシー教育に引き続き協力する。	2) サイバーメディアセンター教員が担当の全学共通教育科目「情報探索入門」において、2回の講義を図書館職員が実施(10/11、10/18 140名)。		

1. 部局年度計画(図書館)達成状況及び自己評価 (4)

項番	年度計画 (項目名)	18年度部局年度計画	18年度達成状況	自己評価
			IV: 年度計画を上回って実施している III: 年度計画を順調に実施している II: 年度計画を十分実施していない I: 年度計画を実施していない	
64	学習相談の充実	1) ホームページを活用した参考質問の電子的受付を引き続き行う。(重複) 2) WEB上で提供する資料利用案内を充実する。	1) 本館、分館で電子メールによるオンライン調査依頼174件につき回答を行った。(平成17年度は98件) 2) 提供データベースの追加に伴い、ウェブページに簡単な内容の紹介・利用マニュアルへのリンク作成を随時行った。	III
70	社会人・留学生等に対する学生生活や学習の支援	1) 英語利用案内を引き続き提供する。他の外国語による利用案内についても、作成を検討する。 2) 留学生が学習や研究を行うために必要とする図書・雑誌等の整備を継続する。 3) WEB上から外国人留学生、社会人に向けて提供する情報の充実を図る。	1) 本館では英語利用案内を引き続き提供中(隔年発行)。他の外国語による利用案内については、利用案内WGで検討している。生命科学分館では2007年版英語利用案内(300部)を作成した。吹田分館では平成16年度作成分から、経費節減のため年度表示を省略して作成しており、変更部分の訂正、補記を行い今年度も継続して使用した。 2) 全学で留学生用図書452点を購入した。(17年度は274点) 3) 図書館ホームページに学外者向けの図書館利用方法のページを掲載した。	III
73	身体障害学生の支援	【新規】 ・視覚障害を持つ学生の利用の便を図るため、本館と生命科学分館に対面朗読室を設置する(既設施設を改修・併用)。	1) 本館では、A棟2階グループ研究室を対面朗読室にする方向で検討中。生命科学分館では4階に対面朗読室を設置する方向で検討中。	II
74	課外活動の支援	1) ボランティア活動などの課外活動に関連した資料の整備を図る。 2) 課外活動に対する支援方を引き続き検討する。	1) 中田文庫の国際ボランティア等関係図書を12冊購入した。中田文庫の基金がなくなったため、学生用図書の一部を充てた。 2) 美術部及び写真部に展示場所を引き続き提供中。	III
97	現状の維持・更新に関する方針	1) 公用貸出返却資料を利用者に提供するため、再整理作業、配架作業を引き続き行う。 2) 目録データ遡及入力を継続し、2万冊以上の入力を実施する。 3) 図書館ホールの教育研究活動への提供を継続する。	1) 本館では書庫棟の蔵書点検によりバーコードラベル貼り付け、重複調査により不用図書候補の抜き取り作業を通して書庫スペースの確保を行った。蔵書点検冊数は約91,200冊。公用貸出返却図書の目録データ入力を、書庫内図書の遡及入力と平行して実施し、約1,700冊を処理した。また、公用貸出返却図書14,331冊の搬入、再整理を実施した。 生命科学分館では、部局返却図書267冊の整理(重複処理205冊、目録作成67冊)、集密書架図書約2,600冊の整理(内目録作成1,747冊)及び1階倉庫内未整理図書約9,160冊の整理(重複調査等)、蔵書点検に係る約1,200冊の分類整理等を行った。 吹田分館では、公用貸出返却図書5,800冊を再整理し、配架した。また返却された製本雑誌約10,000冊の重複調査をし、重複していない6,500冊を再整理、配架した。 研究室に公用貸出中の図書について実査計画を策定し、本館・分館においてそれぞれの関連部局での調査に着手した。 2) 引き続き外注による目録データ遡及入力を実施し、書庫内研究用図書約23,300冊を登録した。(平成17年度は約21,100冊)また、国立情報学研究所の遡及入力事業に応募した結果採択され、約3000冊を外注業者により登録した。 3) 学内における単発の授業や講演会などに本館・分館内のホールを提供し、いずれも昨年実績を上回った。 ・本館図書館ホール: 48件(17年度は44件) ・生命科学分館AVホール: 22件(17年度は16件) ・吹田分館視聴覚ホール: 67件(17年度は63件)	IV
			<年度計画を上回っている点> ・長年の懸案であった研究室への公用貸出図書の実査について、計画を策定、着手することができた。 ・遡及入力について、国立情報学研究所の事業にも参加し、学内措置による外注作業と併せて、昨年度を3割程度上回る登録実績を達成した。	

1. 部局年度計画(図書館)達成状況及び自己評価 (5)

項番	年度計画 (項目名)	18年度部局年度計画	18年度達成状況	自己評価
				IV: 年度計画を上回って実施している III: 年度計画を順調に実施している II: 年度計画を十分実施していない I: 年度計画を実施していない
103	多様な知的財産の創出の推進	1) 大阪大学における機関リポジトリの構築を推進し、学内で生産・所蔵する以下の学術情報について、本文データまたはメタデータの整備・蓄積及びWEB上での公開を可能なものから実現していく。 ・懐徳堂文庫、須田国太郎コレクション、赤木文庫等の貴重資料 ・学位論文 ・科研費等研究報告書 ・学内発行紀要類の掲載論文 ・学内研究者の学術雑誌掲載論文	1) 国立情報学研究所の平成18年度委託事業(CSI事業)に参加して機関リポジトリの構築を推進し、学内関係者の承認を得て、2月20日に「大阪大学学術情報庫(OUKA)」の名称で正式公開を行った。コンテンツ収集に関しては、以下の進展があった。 【学位論文】学内の本学博士号取得者に学位論文の電子化許諾依頼をおこない、648件の許諾を得た。このうち353件について本文の電子化を実施し公開した。更に引き続き許諾依頼を実施中。また、博士学位論文の継続的・安定的・包括的な電子化を図るための方策について検討を開始した。 【紀要】文学研究科の紀要2誌について、99件のデータを登録・公開した。また、文学部内で紀要等の電子化についてアンケートを実施していただき、文学部における状況を把握した。 【学内研究成果】discussion paper、教材など協力が得られたものについてデータを登録した。 【日本医学放射線学会雑誌】掲載論文の収録・公開について、学会との間で覚書を締結(8/27)。現在の登録件数5,774件。 【Osaka Journal of Mathematics】掲載論文の機関リポジトリへの登録及び電子化データの提供について、編集委員会から承諾を得て、合意事項に関する覚書を交わし、論文データ304件を登録した。 【貴重資料】須田国太郎コレクションのWebサイトにおいて演目の解説を77件追加し、ほぼ全ての演目が解説付きとなった。	III
108	学内の附置研究所・研究施設などにおけるプロジェクト	1) サイバーメディアセンター等と協力して機関リポジトリのシステムの整備を進める。また、学内各部局関係者の協力を得て、機関リポジトリに収録するデータの組織的な収集を図る。	1) 国立情報学研究所の平成18年度委託事業(CSI事業)に参加し、サイバーメディアセンター教員の協力により、全学統一認証基盤により機関リポジトリにログインするためのシングルサインオンシステムの研究・開発を行った。また、学内合意形成のために、サイバーメディアセンターと協力して関係方面への説明を実施した。 国立情報学研究所に平成18年度委託事業報告書を提出し、同報告書において19年度の委託事業計画案も記述した(2/15)。3月末に19年度の事業計画採択が決定し、引き続き事業を実施することになった。	III
119	一般市民への学習機会の提供	1) 本学で所蔵する貴重資料を学内外への展示会等に提供する。 2) 学外者への貸出サービスを実施する。 3) 学外者向け利用案内を充実する。	1) 以下の学外展示会に資料を提供した。 ・鹿児島県立歴史資料センター黎明館(「祈りのかたち」2006/9/29-11/5展示 1点) ・大阪大学総合学術博物館(「みる科学の歴史」2006/10/30-11/24展示 6点) ・適塾 適塾特別展「緒方洪庵と敵塾」2007/3/23-4/18 10点) 2) 4/1より一般市民(学外者)への貸出サービスを実施し、8/1より卒業生への貸出サービス対象要件を緩和した。 その結果、本館、分館における学外者の登録人数、貸出冊数は前年度に比べて以下のように大きく増加した。 本館では卒業生207人登録、貸出冊数は、1,266冊(17年度は144人登録、862冊貸出)。一般市民への登録は68人、貸出冊数は、184冊。 生命科学分館では卒業生への利用者票発行は92人、貸出冊数は374冊(17年度は46人登録、108冊貸出)。一般市民への利用者票発行は40件、貸出冊数は92冊。 吹田分館では、卒業生への利用者票発行は44人、貸出冊数は199冊(17年度は24人登録、91冊貸出)。一般市民への利用者票発行は23件、貸出冊数は55冊。 3) 本館、分館では学外者への貸出サービス開始にあわせて、それぞれ学外者向けの利用案内を新規に作成した。また、ホームページでも学外者向けの利用方法のページを掲載した。	III
120	貴重資料の収集展示による教育研究上の啓発活動の推進	1) 図書館主催または共催による展示会を開催する。	1) 以下の展示会を実施した。 ・いちよう祭貴重資料展示(4/30、5/1)。 ・国立七大学附属図書館協議会時に貴重資料展示(9/28)。 ・豊中市と共催する「高齢化社会と医療シンポジウム」(11/26開催)に併せて展示会を実施。	III

1. 部局年度計画(図書館)達成状況及び自己評価 (6)

項番	年度計画 (項目名)	18年度部局年度計画	18年度達成状況	自己評価
				IV: 年度計画を上回って実施している III: 年度計画を順調に実施している II: 年度計画を十分実施していない I: 年度計画を実施していない
123	医療関係者への 情報提供	1) 生命科学分館では以下の計画を実施する。 ・収集雑誌を見直す。 ・複写受付体制の整備・拡充を検討する。 ・看護学生、看護師等へ研修を支援する。	1) 生命科学分館では、学内経費購読誌においては、冊子あるいは電子ジャーナルでの利用を可能な形で既存の資料提供体制を維持するように調整した。また、外国雑誌センター館経費購読誌においては、値上がり等による減少を抑制するために、数社の雑誌において大幅な特別価格を獲得した。 医学部附属病院看護部の求めに応じ、新たに同キャリア開発センター研究コース受講者への文献検索講習を実施した。	III
128	地域の他大学等との 連携の促進	1) 平成17年度に発足した近畿地区の国公立大学図書館の協力組織である「大学図書館近畿イニシアティブ」の事業に、引き続き参画する。 2) 平成17年度に活動を開始した関学大、神戸大、大阪大による「EUIJ関西」の、図書館相互利用協定による利用を推進する。	1) 3回開催された運営委員会に参加し、大学図書館近畿イニシアティブ(近畿イニシア)の事業計画等を審議した。主査館を勤める能力開発専門委員会は6回開催し、能力開発事業(初任者研修、その他の研修等)について検討した。今年度は基礎研修の位置づけで「初任者研修」を11月21-22日の両日に関西大学で実施し65名の参加者があった(阪大から2名参加)。第3回運営委員会において来年度は中級研修を実施することが決定された。また、近畿イニシア協賛で学内において国際シンポジウムを開催し(11/15、参加121名)、学外での協賛による講演会、シンポジウムにも積極的に参加した。(2回、4名参加) 2) EUIJ関西大学図書館相互利用協定に基づいて3大学図書館の利用が可能な体制を引き続き提供している。	III
130	海外の大学・研究 機関との連携・交 流体制の推進	1) 国立大学図書館協会、国立情報学研究所(NII)等を通じた国際的連携事業に継続して参加する。	1) 11月15日に、NII主催、広島、大阪、東北各大学が共催する国際シンポジウム「求められる図書館サービスとスタッフ・ディベロップメント」(関西会場)を、本館を会場に開催し、スウェーデン、オーストラリア、ニュージーランドの大学図書館員による講演とパネルディスカッションを実施した。	III
135	国際交流事業への 積極的参加	1) 海外ILLを引き続き推進する。	1) 海外ILL推進のため、IFLA Voucher による料金受取・支払について調査した。 海外機関とのILLを引き続き実施した。本館では依頼、受付件数とも増加しているが、生命科学分館、吹田分館では、理系の雑誌がほとんど電子ジャーナルにより利用可能となっているため、学外への依頼は減少している。 本館: 依頼29件、受付125件(平成17年度、依頼15件、受付93件) 生命科学分館: 依頼50件、受付9件(平成17年度、依頼72件、受付18件) 吹田分館: 依頼14件、受付0件(平成17年度、依頼21件、受付0件)	III

2. 図書館サービス

2-1. 開館の日数・時間

区分	授業期（3月は除く）		休業期及び3月	
	月曜～金曜	土・日曜日	月曜～金曜	土・日曜日
本館	9～21	10～17	9～19	10～17
生命科学分館	9～21	10～17	9～21	10～17
吹田分館	9～21	10～17	9～17	10～17

＜本館、生命科学分館、吹田分館の年間延べ開館時間数の推移＞（単位：時間）

年度		平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	通常の開館	1,568	1,696	1,870	1,856	1,824	1,839	1,832
	時間外開館	672	684	676	786	768	786	786
	土曜開館	231	231	245	322	336	336	336
	休日開館	231	238	238	329	350	329	343
	合 計	2,702	2,849	3,029	3,293	3,278	3,290	3,297
	(指数)	100	105	112	122	121	122	122
生命	通常の開館	1,944	1,936	1,952	1,958	1,928	1,936	1,936
	時間外開館	926	920	926	974	952	968	968
	土曜開館	245	336	350	357	350	357	343
	休日開館	255	347	350	350	357	350	357
	合 計	3,370	3,539	3,578	3,639	3,587	3,611	3,604
	(指数)	100	105	106	108	106	107	107
吹田	通常の開館	1,936	1,936	1,952	1,960	1,928	1,936	1,936
	時間外開館	656	656	656	660	664	660	656
	土曜開館	322	322	329	336	350	350	343
	休日開館	—	245	252	336	336	336	343
	合 計	2,946	3,159	3,189	3,292	3,278	3,282	3,278
	(指数)	100	107	108	112	111	111	111

図書館の開館時間拡大は、平成12年度から15年度にかけて、日曜開館の実施、休業期間中の夜間開館、土日開館の実施と段階的に拡大している。平成15年度以降は特に変更がなく、開館時間の拡大は一段落した形となっている。開館時間のさらなる延長を望む利用者の声もあるが、一方では省エネ、経費削減のため休暇期間中の時間短縮も検討せざるを得ない状況も生まれつつある。

2-2. 入館者数

年度		平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	学内※	463,333	587,424	579,088	591,274	532,419	500,716	494,786
	内、学生	—	—	558,074	571,705	514,382	483,203	477,770
	内、教職員	—	—	21,014	19,569	18,037	17,513	17,016
	学外	1536	3075	4,731	6,899	9,732	10,343	11,519
	合計	464,869	590,499	583,819	598,173	542,151	511,059	506,305
生命	学内※	211,662	189,954	183,188	177,997	168,244	151,469	140,969
	内、学生	—	—	149,518	149,761	143,691	130,468	119,929
	内、教職員	—	—	33,670	28,236	24,553	21,001	21,040
	学外	7,636	7,665	7,705	8,320	9,397	11,012	9,738
	合計	219,298	197,619	190,893	186,317	177,641	162,481	150,707
吹田	学内※	218,920	210,806	202,573	200,078	191,378	185,826	185,078
	内、学生	—	—	178,257	176,937	173,039	171,978	173,404
	内、教職員	—	—	24,316	23,141	18,339	13,848	11,674
	学外	729	739	724	759	923	1,607	4,924
	合計	219,649	211,545	203,297	200,837	192,301	187,433	190,002
合計	学内※	893,915	988,184	964,849	969,349	892,041	838,011	820,833
	内、学生	—	—	885,849	898,403	831,112	785,649	771,103
	内、教職員	—	—	79,000	70,946	60,929	52,362	49,730
	学外	9,901	11,479	13,160	15,978	20,052	22,962	26,181
	合計	903,816	999,663	978,009	985,327	912,093	860,973	847,014
サービス対象者 (学内)	学生	20,658	20,345	20,155	20,754	21,033	21,119	20,932
	教員	2,514	2,483	2,404	2,481	2,439	2,369	2,515
	職員	2,853	3,638	3,416	3,668	4,337	4,662	4,857

入館者数は平成13年度から15年度にかけて3館とも最高水準に達しており、特に本館は新館がオープンした平成13年度に大幅に増加している。その後、平成16年度から全体として減少傾向にあるが、これは電子ジャーナルやデータベースの普及が影響していると見られる。一方、学外者の利用については、学外者への開放を段階的に行っており、本館、吹田分館では学外者の利用が着実に増加している。従来学外者の利用が最も多かった生命科学分館は、依然高い水準にあるが、平成18年度は若干減少している。

※平成13年度以前は学内入館者の内訳統計をとっていない。

2-3. 貸出サービス

年間貸出冊数の推移（個人貸出）

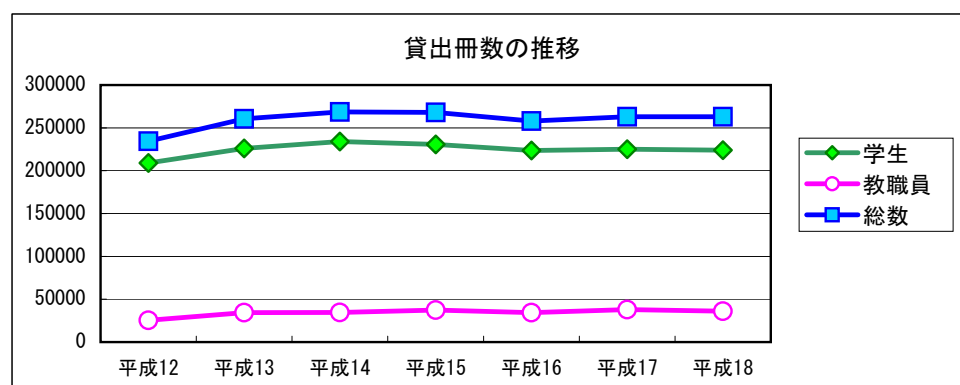
単位：冊

年度		平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館系	学生	148,421	165,815	170,742	168,524	160,521	158,502	152,939
	内、学部学生	90,699	98,326	102,287	101,848	92,265	91,706	88,866
	内、院生等	57,722	67,489	68,455	66,676	68,256	66,796	64,073
	教職員	19,149	28,558	29,242	30,049	27,634	29,498	26,357
	学外者						1,307	2,140
	合計	167,570	194,373	199,984	198,573	188,155	189,307	181,436
	自動貸出※					96,577	100,898	98,193
生命系	学生	19,366	19,947	22,052	21,637	18,272	20,233	21,107
	内、学部学生	14,132	13,994	15,304	15,389	13,408	13,571	14,196
	内、院生等	5,234	5,953	6,748	6,248	4,864	6,662	6,911
	教職員	3,212	2,980	2,619	3,688	2,676	4,009	5,094
	学外者						108	496
	合計	22,578	22,927	24,671	25,325	20,948	24,350	26,697
吹田系	学生	41,237	40,349	41,216	40,492	44,869	46,369	49,922
	内、学部学生	25,346	23,540	24,415	24,838	26,293	25,627	26,480
	内、院生等	15,891	16,809	16,801	15,654	18,576	20,742	23,442
	教職員	2,982	2,924	2,788	3,659	4,068	4,387	4,655
	学外者						107	335
	合計	44,219	43,273	44,004	44,151	48,937	50,863	54,912
	自動貸出※					29,382	38,995	42,595
全学	学生	209,024	226,111	234,010	230,653	223,662	225,104	223,968
	内、学部学生	130,177	135,860	142,006	142,075	131,966	130,904	129,542
	内、院生等	78,847	90,251	92,004	88,578	91,696	94,200	94,426
	教職員	25,343	34,462	34,649	37,396	34,378	37,894	36,106
	学外者						1,522	2,971
	合計	234,367	260,573	268,659	268,049	258,040	264,520	263,045
	自動貸出※					125,959	139,893	140,788

※貸出総数の内、自動貸出装置による数

学生一人あたりの年間貸出冊数

	年度	貸出冊数	学生数	1人あたり 貸出冊数
本館系	平成16	160,521	13,054	13.3
	平成17	158,502	12,809	12.4
	平成18	152,939	12,773	12.0
生命系	平成16	18,272	3,837	4.8
	平成17	20,233	3,646	5.5
	平成18	21,107	3,531	6.0
吹田系	平成16	44,869	4,142	10.8
	平成17	46,369	4,664	9.9
	平成18	49,922	4,628	10.8
全学	平成16	223,662	21,033	10.6
	平成17	225,104	21,119	10.7
	平成18	223,968	20,932	10.7



貸出冊数は、平成13年度以来総数としては大きな変化はないが、本館は平成14年度以来減少傾向にある。平成16年度からは本館、吹田分館に自動貸出装置が導入されたが、本館ではそれにもかかわらず冊数が減少、同時に導入した吹田分館では増加しており、対照的な結果となっている。本館では特に学生の貸出冊数の減少が目立つため、学生用図書の充実が重要課題となっている。自動貸出装置自体は、毎年貸出冊数に占める割合が増加し、特に吹田分館では約78%に達している。本館では長期貸出が多いことと、書庫の図書に自動貸出装置が使えないものが多いため、自動貸出は約54%に留まっている。学外者への貸出は平成17年度から正式に開始され、18年度は3館で約3,000冊の貸出があった。

2-4. 利用者教育

日程・時間	内容
4月5日 15分 1回	医学系研究科医科学専攻修士課程及び医学博士課程新入生ガイダンス「図書館の利用方法」 場 所： 医学研究科講義棟 参加者数： 約100名
4月5日 90分 1回	医学系研究科保健学専攻博士前期・後期課程新入生ガイダンス「文献検索法」 場 所： 医学部保健学科第1講義室 参加者数： 97名
4月12日 180分 1回	歯学研究科博士課程新入生「大学院基本講義：図書館の使い方」 場 所： 歯学研究科 参加者数： 13名
4月13, 14, 17, 18日 各30分、4回	新入生のための図書館利用オリエンテーション 場 所： 本館 参加者数： 460名
4月19日 60分 1回	日本語研修生等オリエンテーション「図書館の利用方法」 場 所： 生命科学分館AVホール 参加者数： 21名
4月25日 90分 1回	人間科学研究科修士課程・博士課程留学生ガイダンス「図書館の使い方」 場 所： 生命科学分館AVホール 参加者数： 20名
4月28日 各180分 2回	「CrossFire」利用説明会 場 所： 吹田分館 参加者数： 114名
5月8日 40分 1回	工学部地球総合工学専攻4回生および同研究科修士・博士課程新入生ガイダンス「図書館の利用方法」、「OPAC検索方法」 場 所： 吹田分館 参加者数： 34名
5月17, 23日 各180分 2回	医学部附属病院看護師「卒後3年研修：文献検索のしかた」 場 所： 生命科学分館AVホール 参加者数： 45名
5月23日 各90分 1回（3クラス）	全学共通教育科目「情報活用基礎」 場 所： サイバーメディアセンター豊中教育研究棟 参加者数： 205名
6月10日 180分 1回	医学部附属病院看護部キャリア開発センター「看護研究コースⅠ：文献検索のしかた」 場 所： 生命科学分館AVホール 参加者数： 31名
6月29日 180分 1回	生命機能研究科博士課程新入生「コンピュータ科学演習集中講義：図書館DB操作演習」 場 所： 工学研究科GSEコモン 参加者数： 18名
6月30日 各180分 2回	医学系研究科博士課程1年次「特別科目（機器分析セミナー）：医学情報へのアプローチ」 場 所： 生命科学分館AVホール 参加者数： 75名
7月19, 26日 各90分 2回	医学部保健学科看護学専攻3年次「看護研究方法論演習：文献検索の仕方Ⅰ、Ⅱ」 場 所： 医学部保健学科第1講義室 参加者数： 85名
9月27日 60分 1回	短期留学生オリエンテーション 場 所： 本館 参加者数： 50名
10月11, 18日 各90分 2回	全学共通教育科目「情報探索入門」 場 所： サイバーメディアセンター豊中教育研究棟 参加者数： 140名
10月18日 60分 1回	日本語研修コース研究生等に対する図書館利用説明会 場 所： 生命科学分館AVホール 参加者数： 26名
12月14, 18日 各90分 2回	INSPEC 講習会 場 所： 吹田分館、サイバーメディアセンター豊中教育研究棟 参加者数： 18名

12月19日、1月10日 各60分 2回	論文の引用頻度とインパクトファクターの調べ方 場 所： 生命科学分館AVホール 参加者数： 75名
2月21日 60分 1回	検索講習（医学部保健学科） 場 所： 生命科学分館1階 参加者数： 7名
2月21日 60分 1回	文献検索について（人間科学部） 場 所： 生命科学分館1階 参加者数： 7名

情報リテラシー教育の実施回数は生命科学分館が特に多く、その内容もオリエンテーションから専門分野に関するものまで幅広い。また、昨年まで実績が少なかった吹田分館での実施が増加していることが注目される。本館では実施内容に大きな変化はなかったが、共通教育科目「情報活用基礎」の中で図書館職員による利用教育を計画しており、担当教員と協議した結果、平成18年度に一部の講義において実施することになった。

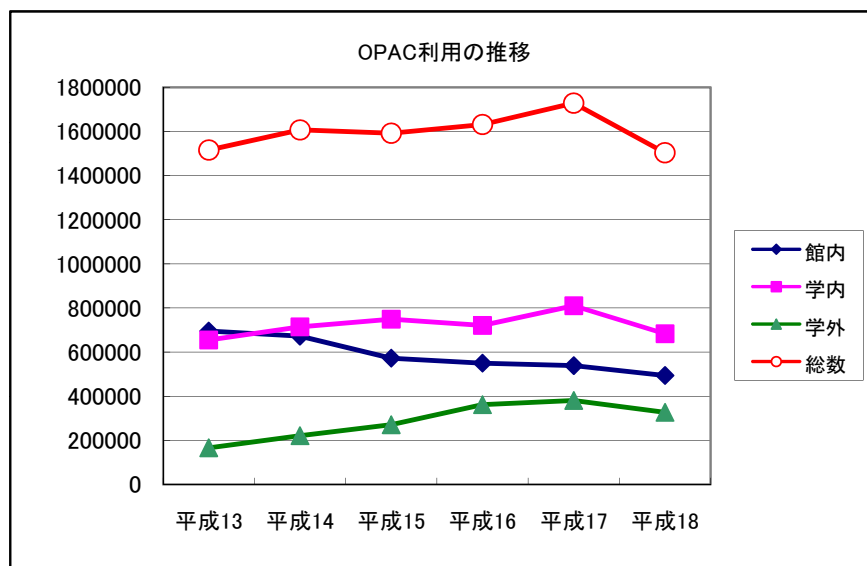
2-5. 目録情報サービス（OPAC）

2-5-1. OPACの利用

OPAC利用件数の推移

年度	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
館内専用端末	695,358	672,169	572,478	549,639	538,484	493,829
比率	45.9%	41.8%	36.0%	33.7%	31.2%	32.8%
学内から	654,514	713,986	748,966	720,518	809,762	683,024
比率	43.2%	44.4%	47.0%	44.2%	46.8%	45.4%
学外から	165,807	220,797	270,527	361,285	380,235	326,510
比率	10.9%	13.7%	17.0%	22.1%	22.0%	21.7%
合計	1,515,679	1,606,952	1,591,971	1,631,442	1,728,481	1,503,363

※ 「学内から」には「館内専用端末」分は含まない。
※ システムが変更された平成13年度以降を記載した。



OPACのアクセスは全体として平成17年度までは増加傾向にあったが、平成18年度には約13%減少した。平成18年度末には図書館システムのリブレースによりOPACシステム自体が更新されており、今後の推移を確認した上で、減少傾向が続くようなら対応を検討する必要がある。アクセス元については平成16年度以来ほぼ同様の傾向が続いており、館内専用端末からのアクセスが約3分の1、図書館以外の学内からのアクセスが45%前後、学外からのアクセスが22%前後となっている。

2-6. 電子情報サービス

2-6-1. オンライン・データベース

平成18年度データベース検索システム

区分	データベース等名称	分野	利用料金	備考
A	Medline, CINHAL, 医学中央雑誌	医学	15,000 円	
B 1	SciFinder Scholar	化学	30,000 円	(C A冊子体非購読部局)
			10,000 円	(C A冊子体購読部局)
B 3	CrossFire		30,000 円	
C	Scopus, Science Direct Navigator (Compendex, Beilstein Abstracts, Biotechnobase, Elsevier Biobase, Embase, Fluidex, Geobase, Oceanbase, World Textiles, INSPEC, Medline)	工学	30,000 円	Science Direct Navigator は平成18年12月末でサービス終了
D	PsycINFO	心理学	20,000 円	
E	ERIC, Index to Legal Periodicals, EconLit, MLA	人文・社会科学	20,000 円	
F	Books in Print, Ulrich's, Dissertation Abstracts	総合	15,000 円	
G	Web of Science (SCI) Journal Citation Reports, Science ed.	総合	20,000 円	

データベース検索システム 利用統計

データベース名称	区分	件数	備考
MEDLINE	A	3,729	
CINAHL	A	1,021	
医学中央雑誌	A	18,887	
SciFinder Scholar	B1	77,112	
CrossFire	B3	21,626	
Scopus	C	28,733	
Science Direct Navigator	C	10,097	2006年12月でサービス終了
PsycINFO	D	2,283	
ERIC	E	415	
Index to Legal Periodicals & Books	E	254	
EconLit	E	2,891	
MLA International Bibliography	E	35	
Books in Print with Book Reviews	F	767	
Ulrich's International Periodicals Directory	F	200	
Dissertation Abstracts	F	275	
Web of Science (SCI)	G	36,011	
Journal Citation Reports. Science ed.	G	6,049	

無償提供データベース 一覧

CA on CD, CI on CD 10th~13th	NICHIGAI WEB (MAGAZINEPLUS, BOOKPLUS)
Cochrane Library	NNA : 国際情報&データベース
Cross Cultural	Routledge Encyclopedia of Philosophy
Derwent Innovations Index	The Online Guide to Computing Literature
D-Vision net	Wiley Reference Works
Education : the Complete Encyclopedia on CD-ROM	Zentralblatt MATH
e-hoki : 判例MASTER	朝日新聞戦前紙面データベース
English Verse Drama	聞蔵DNA (2006.4サービス開始)
INISデータベース	明治・大正・昭和(戦前)の読書新聞

データベース検索システム及び無償提供データベースのうち、SciFinder Scholar、CrossFire、Science Direct Navigator、Web of Science、Journal Citation Reports、NICHIGAI WEBは、サイバーメディアセンターが契約していたものである。このうち、Science Direct Navigatorについては提供元が平成18年12月でサービスを終了した。これに代わるものとして平成18年度からSCOPUSを提供している。また、Web of ScienceについてはSSCI、A&HCIを追加することになり、平成18年末から先行してサービスが開始された(正式サービスは平成19年度から)。残るデータベースについては、平成18年度末に契約更新された。また、学内に無料公開しているデータベースとして、朝日新聞記事全文データベース「聞蔵DNA (Digital News Archive)」の提供が平成18年度から開始された。

2-6-2. 電子ジャーナル

電子ジャーナルタイトル数の推移(概数)

	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
総タイトル数	1,500	1,900	3,590	6,010	6,360	7,110	7,682
うち、有料タイトル数	0	120	1,920	4,730	5,710	5,950	6,898

※オープンアクセスのタイトルを除く

主な利用可能電子ジャーナル (ABC順)

American Chemical Society (ACS Online) (24タイトル)
 American Physical Society (APS) (8タイトル)
 Association for Computing Machinery (ACM Portal) (約260タイトル)
 Blackwell (Synergy) (約680タイトル)
 Cell Press Online (9タイトル)
 Elsevier Sciences (Science Direct) (約1,650タイトル)
 IEEE (ASPP, POP) (約800タイトル)
 JSTOR (約120タイトル)
 Nature Online (1タイトル)
 Optical Society of America (OSA) (8タイトル)
 ProQuest Health&Medical Complete (約450タイトル)
 Science Online (1タイトル)
 Springer LINK (約1300タイトル)
 Wiley InterScience (約460タイトル)

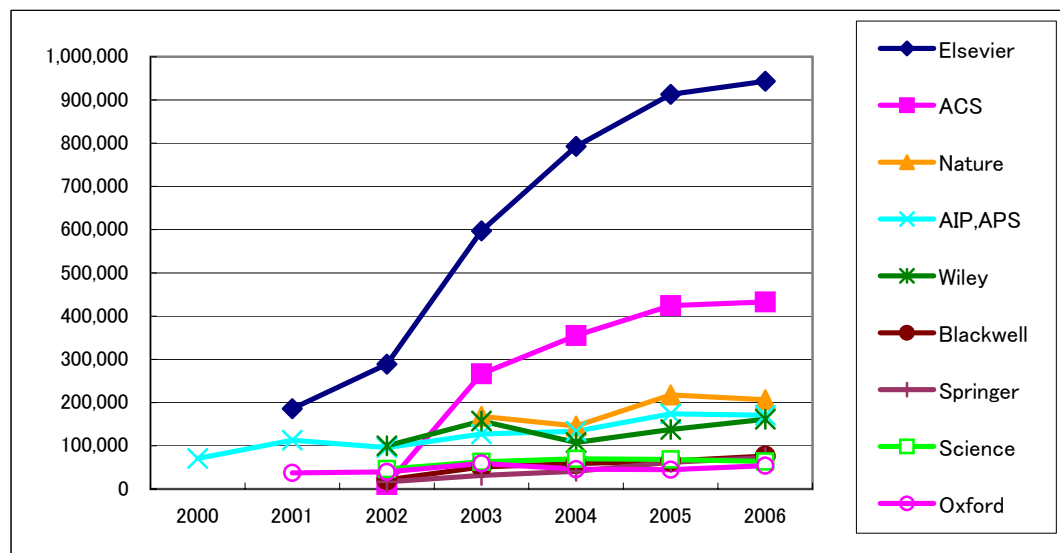
主要電子ジャーナルのアクセス数 (Jan-Dec)

	2001	2002	2003	2004	2005	2006
ACS		10,225	266,641	355,193	424,437	432,785
AIP, APS	112,766	95,708	127,230	133,540	173,953	176,099
Blackwell Synergy		21,046	51,057	58,755	64,631	76,249
Cambridge	1,081	1,561	1,277	1,845	2,176	2,331
Elsevier Science Direct	185,937	288,905	597,275	792,665	912,890	943,274
IEEE		914	22,737	20,309	23,833	25,747
IOP	3,789	4,075	5,893	10,491	16,240	24,854
JSTOR		6,717	9,710	26,928	39,706	42,605
Nature			168,022	146,041	217,557	206,702
Oxford	37,571	39,743	59,099	45,753	44,688	55,354
Science		46,126	62,865	69,919	68,641	63,651
Springer LINK		16,838	31,403	41,261	61,933	72,574
Wiley InterScience		100,107	157,524	107,797	137,742	161,319

※統計が入手可能な主要電子ジャーナルで、1～12月のデータが揃っているものを抽出。

主要電子ジャーナル利用数の推移

※主要5社 (Elsevier, Blackwell, Springer, Wiley, OUP) + ACS, AIP, Nature, Science



平成18年度は、Kluwer社がSpringerに吸収されるなど、出版社の変更はあったが、前年に続いて契約しているタイトルに大きな変更はなかった。契約タイトル数は8%程度の増加であるが、E-only契約の一部導入により、有料タイトル数は16%増加している。アクセス数は、前年に引き続き、利用が急増する一部の出版社と、横這い状態の多くの出版社との間で差が広がる傾向が見られる。

数年来の懸案事項であった電子ジャーナルの維持経費負担の問題については、大きな進展があった。平成18年度は、16年度から3年の期限で実施されていた部局負担方式の最終年にあたり、全学的な電子ジャーナル経費の負担方式を見直すこととしていたが、電子図書館専門委員会を中心に具体的な検討を行った結果、平成19年度からは主要出版社の電子ジャーナルをE-only契約に移行することとした。この契約に必要な経費は約4億円であるが、19年度はその内3億円を部局負担、残りを全学負担とすることになった。今後部局負担軽減のため、全学的経費の確保が課題となっている。

今後の全学的な電子的学術情報の整備のあり方について、18年度末には「電子的学術情報基盤整備経費」を設けることを主要内容とする報告書が図書館委員会で承認され、19年度に全学的な検討を進めることとなった。

2-6-3. 館内単体利用のCD-ROMデータベース

利用の推移

年度	本館	生命	吹田	合計
平成4年	154	19,690	--	19,844
平成5年	261	34,305	233	34,799
平成6年	1755	35,628	395	37,778
平成7年	2,409	29,822	411	32,642
平成8年	1,977	13,257	52	15,286
平成9年	3,635	6,799	336	10,735
平成10年	2,521	7,783	141	10,445
平成11年	4,174	3,445	191	7,810
平成12年	5,273	144	574	5,991
平成13年	5,104	36	344	5,484
平成14年	4,640	--	244	4,884
平成15年	3,975	--	396	4,371
平成16年	4,363	--	614	4,977
平成17年	2,995	--	305	3,300
平成18年	2,199	--	321	2,520

主要CD-ROMデータベース（館内単体利用）の利用状況（年間利用件数が100以上のもの）

	H15	H16	H17	H18
朝日新記事データベース(CD-HIASK)	936	1,329	844	527
科学技術文献速報(吹田分館)	396	614	305	321
判例マスター	546	412	215	212
世界大百科事典	398	511	313	194
日本書籍総目録	110		169	176
明治・大正・昭和(戦前1)の読書新聞		252		
岩波理化学辞典	142	175		
広辞苑	240	135		
Oxford English Dictionary	102	126		
理科年表	174	121		
研究者研究課題総覧	146	107	102	
LEX/DB (2003.04.23-)	110			
Encyclopedia Britannica	100			

単体利用のデータベースは減少が続いている。この原因としては、利用の多い主要データベースのほとんどがオンライン利用できるようになったことに加え、一部の研究室で独自に導入して来館利用しなくなったことなどが考えられる。更に、本館では平成17年度から統計計算方式を、検索ソフトの起動回数を単純に集計する方式から、短時間内に同一ソフトが起動されたケースを除くよう補正する方式に変更したことが統計値が変動したことの要因と考えられる。（一部のデータベースは平成16年度も現行方式で集計していたが、これらのデータベースにあっては大幅な変動はみられない。）

2-6-4. 電子図書館システム

マルチメディア端末、情報コンセントの利用状況

年度		平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	マルチメディア端末	9,863	60,599	63,400	60,616	49,256	49,178
	情報コンセント	241	330	189	214	317	759
生命	マルチメディア端末	459	6,759	12,189	13,487	13,280	13,849
	情報コンセント	63	233	358	439	99	153
吹田	マルチメディア端末	385	4,706	10,303	11,444	8,251	9,650
	情報コンセント	10	60	215	137	116	342
合計	マルチメディア端末	10,707	72,064	85,892	85,547	70,787	72,677
	情報コンセント	314	623	762	790	532	1,254

※ 平成13年度は10月後半から運用開始

衛星放送の利用状況

番組	場所	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
BBC World	本館	1,064	1,875	2,355	1,554	733	584
	生命	109	550	915	331	512	250
	吹田	59	50	83	28	14	6
	学内	187	766	1,924	1,891	1,831	1,734
	合計	1,419	3,241	5,277	3,804	3,090	2,574
放送大学	本館	138	649	521	329	165	145
	生命	18	104	204	91	195	60
	吹田	7	51	29	19	4	5
	学内	37	202	322	383	362	191
	合計	200	1,006	1,076	822	726	401
World Net	本館	72	1,077	1,527	1,069	395	248
	生命	15	568	708	222	371	93
	吹田	7	35	27	17	7	4
	学内	34	260	1,080	629	695	306
	合計	128	1,940	3,342	1,937	1,468	651
CCTV 中央テレビ台	本館	5	1,313	932	1,052	276	230
	生命	9	277	556	616	823	467
	吹田	1	36	16	46	25	9
	学内	7	259	1,087	867	1,200	489
	合計	22	1,885	2,591	2,581	2,324	1,195
総 計	本館	1,279	4,914	5,335	4,004	1,569	1,207
	生命	151	1,499	2,383	1,260	1,901	870
	吹田	74	172	155	110	50	24
	学内	265	1,487	4,413	3,770	4,088	2,720
	合計	1,769	8,072	12,286	9,144	7,608	4,821

※ 「本館」、「生命」、「吹田」は各館内のマルチメディア端末からの利用数

「学内」はマルチメディア端末以外からの利用数

平成17年度から本館及び吹田分館においてマルチメディア端末の利用がかなり減少している。明確な原因は明らかではないが、マルチメディア端末と利用内容が重なるサイバーメディアセンター情報教育システム端末が平成16年度末に機器更新され使いやすくなったことも原因の一つかと考えられる。マルチメディア端末も18年度末のシステム更新により機器も入れ替えられたため、今後利用数に変化が生じる可能性もある。
衛星放送は利用数が大きく減少しているが、これは電波受信の不具合や機器の不調のため、たびたび受信不可能状態になったことが大きく影響していると見られる。衛星放送システムも18年度末に更新されているので、今後の推移を見守る必要がある。

2-6-5. トライアル

平成18年度に実施したトライアル一覧

タイトル	期間	備考
Web of Science SSCI, AHCI	2006.12~2007.3	2007.4以降正式サービス
EBSCO Host	2007.1~2007.3	

2-6-6. 利用者用情報設備の設置数

(2007年3月末)

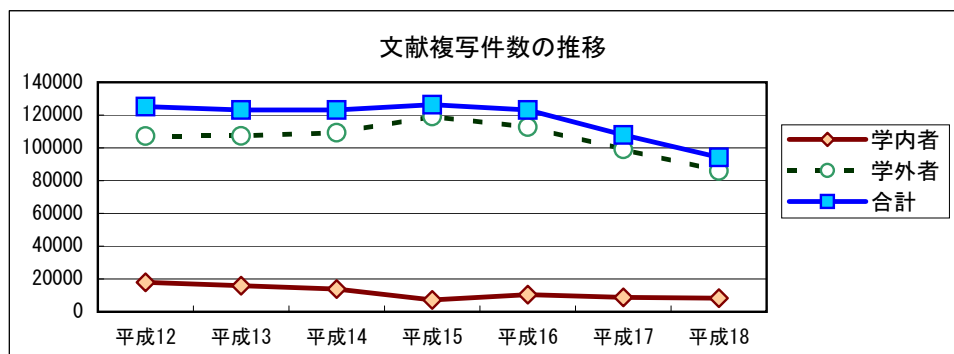
端末、PC等	本館	生命	吹田	合計
OPAC	20	9	6	38
マルチメディア端末	30	15	10	51
データベース検索用PC	13	14	4	32
サイバーメディアセンター端末	79	10	14	104
合計	142	48	34	225
利用者用情報コンセント	35	33	29	97

平成17年度末のシステム更新では、利用頻度に合わせてOPAC端末の配置台数を見直した結果、本館では22台→20台、生命科学分館では11台→9台と若干減少した。一方吹田分館はOPACが5台→6台、マルチメディア端末が6台→10台と増加している。

2-7. 館内文献複写サービス

文献複写件数の推移 (単位 件)

年度		平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	学内者	4,279	4,166	3,335	3,643	3,226	3,274	3,135
	学外者	767	1,913	1,466	1,248	1,413	1,193	1,314
	合計	5,046	6,079	4,801	4,891	4,639	4,467	4,449
生命	学内者	10,772	9,586	8,784	2,144	6,081	4,485	4,440
	学外者	106,218	105,090	107,566	117,698	111,092	97,692	84,411
	合計	116,990	114,676	116,350	119,842	117,173	102,177	88,851
吹田	学内者	2,884	2,122	1,770	1,461	1,124	1,030	745
	学外者	207	253	218	173	194	202	192
	合計	3,091	2,375	1,988	1,634	1,318	1,232	937
合計	学内者	17,935	15,874	13,889	7,248	10,431	8,789	8,320
	学外者	107,192	107,256	109,250	119,119	112,699	99,087	85,917
	合計	125,127	123,130	123,139	126,367	123,130	107,876	94,237



※学内文献複写は「部内」を除く。学外は来館のみ。

館内での文献複写は、電子ジャーナルの影響がもっとも大きく、平成18年度の学内者の複写件数は、平成12年度と比べると約半分になっている。また、学外者の利用も、平成12年度と比べると約4分の3と減少傾向にある。これは電子ジャーナルの導入により冊子体が減少していることや、他機関でも電子ジャーナルの導入が進んでいることが原因と見られる。

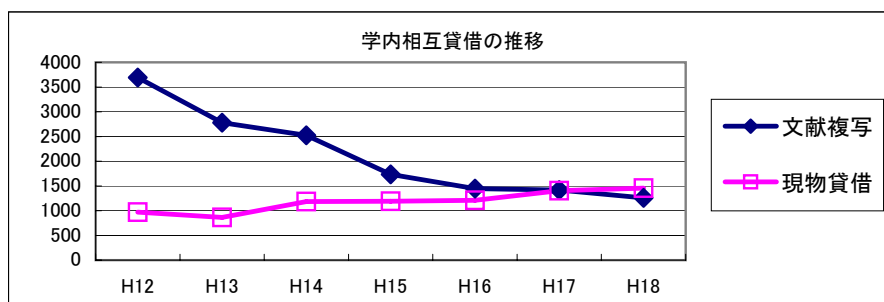
2-8. 学内相互貸借

学内 I L L (文献複写) 依頼件数

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	2,710	1,770	1,634	1,047	882	794	617
生命	77	99	69	60	91	142	159
吹田	582	580	460	361	273	241	246
その他	322	330	362	266	201	239	237
全学	3,691	2,779	2,525	1,734	1,447	1,416	1,259
指数	100	75	68	47	39	38	34

学内 I L L (現物貸借) 依頼件数

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	471	708	632	712	660	736	734
生命	63	52	41	78	52	76	195
吹田	151	157	218	218	234	244	258
その他	179	267	301	314	265	350	270
全学	972	864	1,184	1,192	1,211	1,406	1,457
指数	100	89	122	123	125	145	150



学内相互貸借の文献複写についても、館内文献複写と同様に電子ジャーナルの影響が大きく、急激に減少している。現物貸借は、図書購入の減少を反映しているためか、逆に若干増加傾向にあり、平成18年度の依頼件数は、現物貸借が文献複写を上回っている。

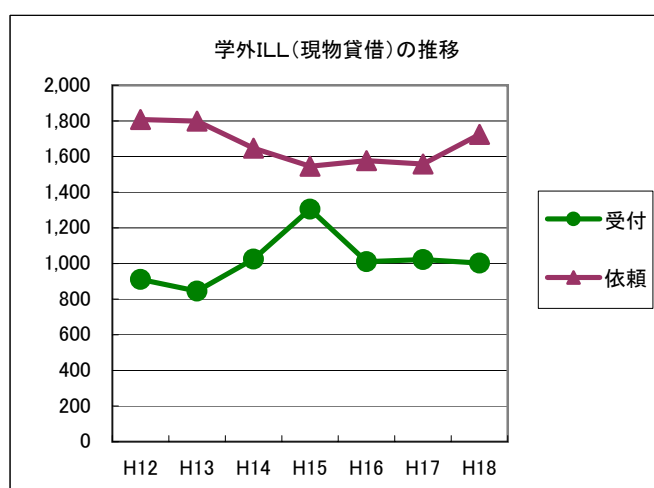
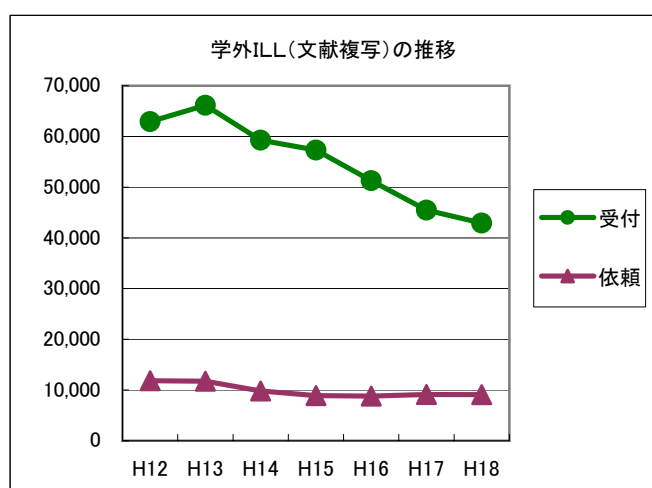
2-9. 図書館間相互貸借（I L L）

2-9-1. 学外 I L L：文献複写 受付・依頼件数の推移

年度		平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
受 付	本館	2,224	3,919	4,491	4,584	3,786	3,724	3,937
	生命	57,937	59,452	52,146	50,286	45,228	39,321	36,265
	吹田	2,384	2,317	1,990	2,226	2,215	2,364	2,647
	その他	373	470	635	214	58	71	71
	全学	62,918	66,158	59,262	57,310	51,287	45,480	42,920
	指数	100	105	94	91	82	72	68
依 頼	本館	3,712	3,768	3,084	3,154	3,398	3,409	3,175
	生命	3,273	3,749	3,132	2,450	3,442	3,991	4,435
	吹田	3,116	2,568	2,089	1,840	1,579	1,290	1,265
	その他	1,727	1,645	1,505	1,462	391	426	228
	全学	11,828	11,730	9,810	8,906	8,810	9,116	9,103
	指数	100	99	83	75	74	77	77

学外 I L L：現物貸借 貸出・借受冊数の推移

年度		平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
貸 出	本館	571	807	957	761	749	801	782
	生命	116	95	101	111	211	160	148
	吹田	89	83	82	104	62	82	72
	その他	69	40	165	34	0	0	0
	計	911	845	1,025	1,305	1,010	1,022	1,002
	指数	100	93	113	143	111	112	110
借 受	本館	1,434	1,265	1,213	1,084	1,095	1,164	1,197
	生命	72	39	38	54	349	264	421
	吹田	94	99	83	84	119	123	72
	その他	208	396	313	324	14	7	34
	計	1,808	1,799	1,647	1,546	1,577	1,558	1,724
	指数	100	100	91	86	87	86	95

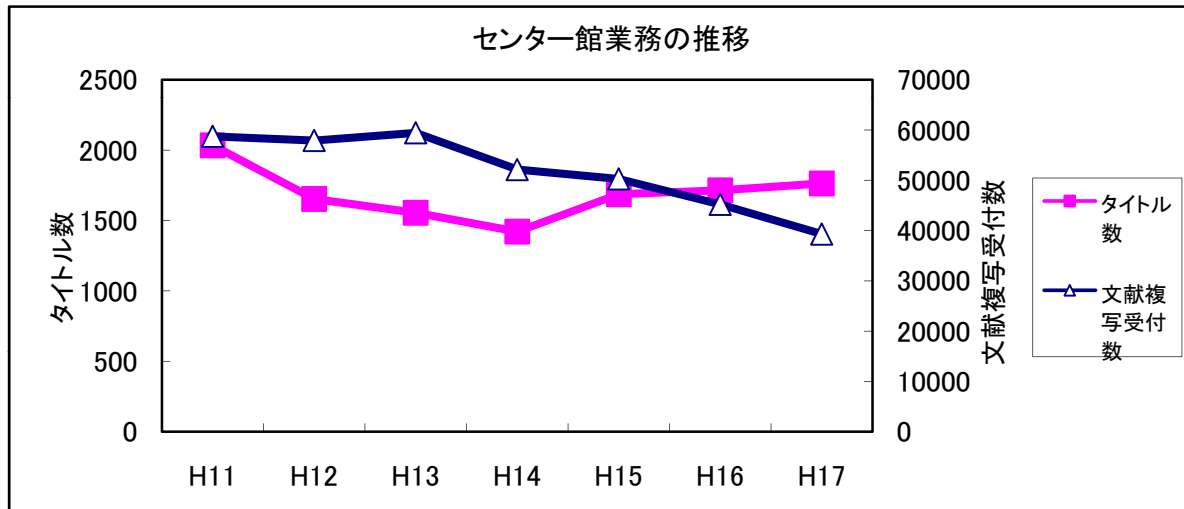


平成12年度を境に、文献複写は減少傾向を続けており、特に学内 I L L の減少が著しい。これは電子ジャーナルの整備により、多くの学術雑誌が研究室から利用可能になったことによるためと見られる。一方で現物貸借は受付、依頼ともに一定水準を維持している。生命科学分館では平成16年度より人間科学研究科図書室の業務を統合したため、現物貸借件数が大幅に増加している。

2-9-2. 外国雑誌センター館

外国雑誌センター館（生命科学分館）の収集タイトル数と学外文献複写受付件数

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
タイトル数	1,654	1,556	1,422	1,688	1,715	1,764	1,560
指数	100	94	86	102	104	107	94
文献複写受付数	57,937	59,452	52,146	50,286	45,228	39,321	36,256
指数	100	103	90	87	78	68	63



生命科学分館は昭和52年より文部省（当時）から医学・生物学系外国雑誌センター館に指定されている。以来、当該分野における国内未収集及び新規創刊の外国雑誌（レア・ジャーナル）を体系的に収集・整理し、全国の研究者の共同利用に供する役割を果たしている。学外からの文献複写受付件数は、平成11年度以降減少傾向にあるが、新しいサービスとしてDDS（Document Delivery System）による電子的送付を強化している。外国雑誌センター館の詳細については、<http://wwwsoc.nii.ac.jp/ncop/> を参照。

2-10. 広報活動

2-10-1. 印刷物

本館	「大阪大学図書館報」Vol. 40, No. 1-3合併号, 4号（2006年2月, 2006年3月, 通巻158～159号）
	「カレントニュース」 No. 33～ 33(2006.04): 間蔵DNAサービス開始 34(2006.04): CrossFire を使ってみよう (4/28) 35(2006.04): 大学図書館を覗く (4/30, 5/1) 36(2006.04): Library Tour in English (4/30, 5/1) 37(2006.12): INSPEC講習会のお知らせ 38(2007.01): 無線LANが附属図書館（豊中本館・吹田分館）で利用できます 39(2007.01): SSCI, AHCI が利用できるようになりました 40(2007.03): 平成19年度のデータベースサービスについて 41(2007.03): データベースを体験しよう！（その1） 42(2007.03): CrossFire を使ってみよう！ 43(2007.03): Scopus 利用講習会
	「大阪大学附属図書館本館利用案内」 2006
	「大阪大学附属図書館本館利用案内」学外者用
生命科学分館	「大阪大学附属図書館生命科学分館利用案内」2007 学内用
	「Osaka University Library Life Sciences Branch Library Guide 2007」
吹田分館	「大阪大学附属図書館吹田分館利用案内」
	「大阪大学附属図書館吹田分館利用案内 学外利用者用」

平成18年度は学外者への図書図書貸出を開始したことに合わせて、本館、分館でそれぞれ学外者向け利用案内を発行した。中国語、韓国語等他言語での利用案内は、懸案にはなっているが実現に至っていない。

2-10-2. 図書館Webサイト

平成18年度の図書館Webサイトアクセス数

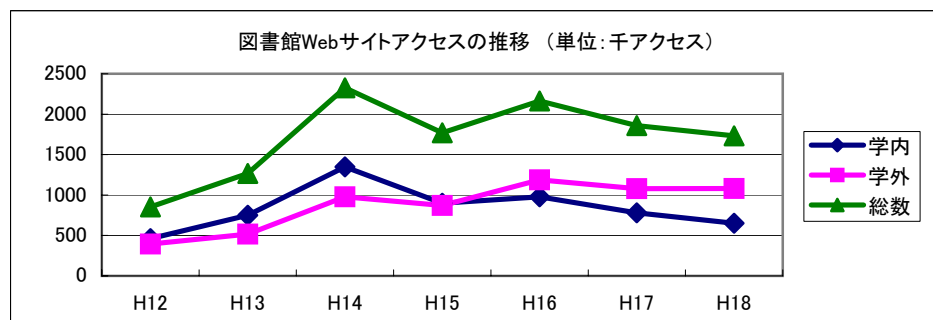
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
18年度総数	170,868	193,048	157,316	159,719	135,860	124,247	145,346	139,951	146,013	127,388	135,088	98,109	1,732,953
18年度学内	67,538	71,660	65,655	57,036	49,317	48,992	60,430	53,328	50,445	45,573	48,883	33,638	652,495
18年度学外	103,330	121,388	91,661	102,683	86,543	75,255	84,916	86,623	95,568	81,815	86,205	64,471	1,080,458

図書館Webサイトアクセス数の推移

(単位：千アクセス)

	H13	H14	H15	H16	H17	H18
学内	751	1,348	899	977	779	652
学外	516	977	870	1,187	1,079	1,080
総数	1,267	2,325	1,769	2,164	1,858	1,732

※平成12、13年度は本館と生命科学分館Webサイトの合計、14年度以降は全館



図書館WEBサイトへのアクセス数は、総数としては平成17年度よりさらに減少した。学外からのアクセスは微増しており、学内からのアクセスの減少が目立つ。アクセス総数に占める学内からのアクセスの比率は平成13年以来減少を続けており(59.3%→37.6%)、学内者向けのコンテンツ整備が今後の大きな課題となっている。

2-11. 公開事業

名称	いちよう祭展示会 ～図書館では何をやってるの～
開催日時	4月30日(日)、5月1日(月)
場所	本館2階新聞コーナー
展示資料	貴重書、電子展示
参観者数	373名
備考	図書館所蔵の主なコレクション(懷徳堂、適塾関係、大型コレクション、赤木文庫、須田国太郎デッサン)の現物展示及び電子化資料、データベースの展示。 学外者のための図書館ツアーも併せて実施。

名称	高齢化社会と医療シンポジウム
開催日時	11月26日(日)
場所	豊中市立中央公民館
参加者数	47名
備考	豊中市と大阪大学附属図書館の共催。 会場で関連資料の展示会も実施。

名称	国際シンポジウム「求められる図書館サービスとスタッフ・ディベロップメント」
開催日時	11月15日(水)
場所	本館6階図書館ホール
参加者数	105名
備考	国立情報学研究所主催、大阪大学附属図書館共催。オーストラリア、ニュージーランド、スウェーデンの図書館員3名による講演とシンポジウム。

名称	クリスマス・コンサート
開催日時	12月20日(水)
場所	本館6階図書館ホール
参加者数	約100名
備考	出演：聖雪(セレ)

平成18年度は新しい試みが多く、学外でのシンポジウム、NIIと共催での国際シンポジウム、クリスマス・コンサートなどを開催した。例年のいちよう祭展示会も、昭和49年以来初めて、文系各部局の展示会と分離して、玄関横のラウンジを利用して開催した。

3. 情報基盤の整備

3-1. 蔵書とその配置

3-1-1. 蔵書数の推移

図書

(冊)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
和漢書	1,379,114	1,412,085	1,439,029	1,462,065	1,482,952	1,495,087	1,513,558
洋書	1,671,486	1,703,451	1,731,360	1,746,741	1,768,410	1,742,314	1,754,192
合計	3,050,600	3,115,536	3,170,389	3,208,806	3,251,362	3,237,401	3,267,750

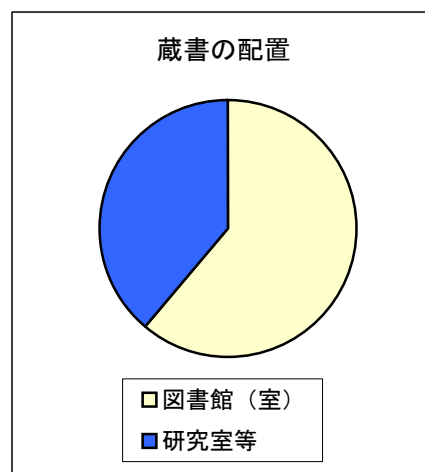
雑誌

(種類)

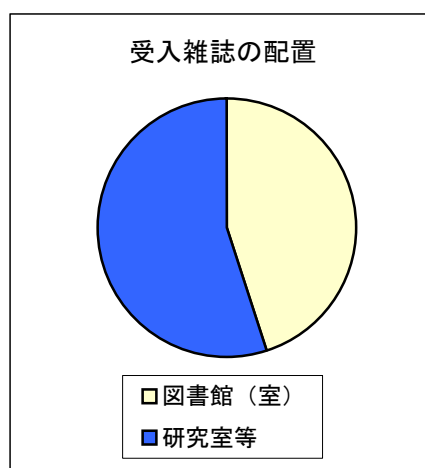
年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
日本語	22,639	23,914	24,523	25,445	25,981	26,587	27,637
外国語	31,100	33,108	33,862	34,219	35,293	35,428	36,920
合計	53,739	57,022	58,385	59,664	61,274	62,015	64,557

3-1-2. 資料の配置

蔵書の配置状況(千冊)				
図書館(室)	蔵書数	うち、 図書館(室) 配置	うち、 研究室等 配置	図書館(室) 配置の割合
本館	2,058	1,157	901	56.2%
人科	230	74	156	32.2%
生命	412	375	37	91.0%
薬学部	30	28	2	93.3%
微研	28	26	2	92.9%
蛋白研	23	21	2	91.3%
吹田	439	284	155	64.7%
産研	57	38	19	66.7%
計	3,277	2,003	1,274	61.1%
構成比	100	61.1	38.9	



受入雑誌の配置状況(タイトル)				
図書館(室)	蔵書数	うち、 図書館(室) 配置	うち、 研究室等 配置	図書館(室) 配置の割合
本館	9,042	2,089	6,953	23.1%
人科	1,518	874	644	57.6%
生命	3,449	3,188	261	92.4%
薬学部	214	210	4	98.1%
微研	102	92	10	90.2%
蛋白研	130	117	13	90.0%
吹田	1,604	644	960	40.1%
産研	202	126	76	62.4%
計	16,261	7,340	8,921	45.1%
構成比	100	45.1	54.9	



平成17年度は重複図書を中心に大量の不用図書を除却処分したことにより、蔵書冊数が前年を下回った。平成18年度も約1万冊を除却しており、蔵書の増加ペースは落ちている。資料の配置は、図書については医学系部局で図書館・室への集中が進んでいるのに対し、本館、吹田分館ではスペースの制限により、研究室に配置されている比率が大きい。継続受入雑誌は、電子ジャーナルの増加により全体的に減少しているが、図書館配置、研究室等配置の両方とも同程度に減少しているため、比率に変化はない。

3-2. 資料の整備

3-2-1. 年間増加冊数

年間増加冊数の推移

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17*	平成18
本館	52,219	34,944	35,169	23,268	26,143	3,578	18,298
生命	5,213	6,730	5,180	4,531	5,836	-579	3,919
吹田	6,004	6,395	7,158	5,483	5,320	-14,519	4,660
その他	9,175	16,522	7,346	5,135	5,257	-2,441	3,472
全学	72,611	64,591	54,853	38,417	42,556	-13,961	30,349
指数	100	89	76	53	59	-19	42

* 平成17年度は大量の除籍処分を行い、72,171冊の減があったため、年間増加冊数がマイナスになっている。

図書受入冊数（購入・寄贈・製本編入）の推移

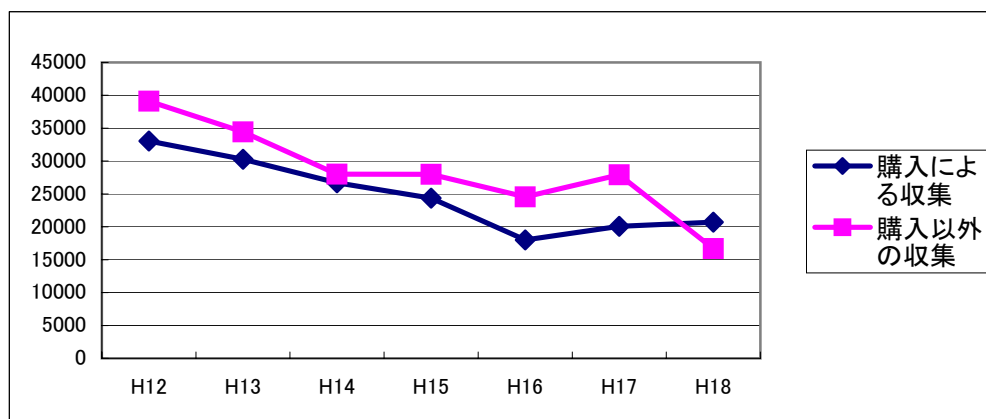
年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	52,576	43,427	35,074	35,089	26,160	31,904	28,774
生命	5,213	6,730	5,180	4,585	5,836	5,142	3,931
吹田	5,739	7,041	7,103	5,615	5,190	5,987	4,646
その他	8,633	7,509	7,346	7,064	5,370	4,951	3,602
全学	72,161	64,707	54,703	52,353	42,556	47,984	40,953
指数	100	90	76	73	59	66	57

購入による収集冊数の推移

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	24,009	21,131	17,803	16,298	12,299	14,287	14,670
生命	509	1,167	1,334	729	1,026	1,262	1,568
吹田	2,869	3,729	3,705	2,917	1,951	2,562	2,814
その他	5,659	4,242	3,852	4,425	2,722	1,956	1,651
全学	33,046	30,269	26,694	24,369	17,998	20,067	20,703
指数	100	92	81	74	54	61	63

購入以外の収集冊数の推移（全学）

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
寄贈等	20,373	12,964	9,724	10,978	8,015	12,835	8,350
製本編入	18,742	21,474	18,285	17,006	16,543	15,082	8,344
合計	39,115	34,438	28,009	27,984	24,558	27,917	16,694
指数	100	88	72	72	63	71	43



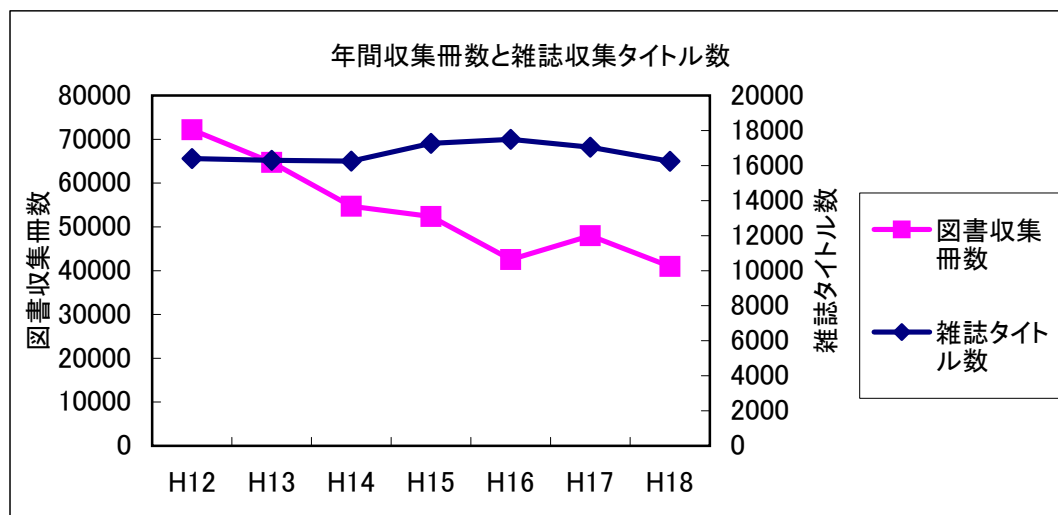
購入による収集冊数は平成12年以来減少を続けており、特に国立大学が法人化した平成16年度は冊数が大幅に落ち込んだ。平成17年度からは微増に転じているが、法人化以前のレベルには達していない。また、寄贈受入、製本編入は平成18年度に大きく減少している。製本編入の減少は、主に予算節減のため製本冊数を抑えたことによるものである。

3-2-2. 雑誌の収集

雑誌収集タイトル数の推移（単位：タイトル数）

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	8,142	8,135	8,140	9,220	9,030	9,136	9,022
生命	3,607	3,692	3,441	3,684	3,671	3,633	3,449
吹田	2,142	2,117	2,055	1,822	2,218	1,783	1,604
その他	2,513	2,353	2,614	2,545	2,582	2,498	2,166
全学	16,404	16,297	16,250	17,271	17,501	17,050	16,241
指数	100	99	99	105	107	104	99

雑誌収集タイトルは図書と対照的に、平成15年度に増加し、それ以後横ばいに近い状態が続いている。これは、電子ジャーナル契約維持のため、主要出版社の購読タイトルを維持していることが大きな要因になっていたものと見られる。平成19年度からは主要出版社の契約が冊子の維持を必要としないe-only契約に移行するため、冊子の部数は急激に減少することが予想されている。



3-2-3. 諸形態の資料の収集

諸形態の資料の受入数の推移（単位：点）

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
視聴覚資料	439	359	477	629	317	238	360
電子メディア	356	297	337	313	140	126	136
マイクロ資料	37	18	25	12	9	14	10
合計	832	674	839	954	466	378	506

諸形態の資料は全般的に減少傾向にあったが、平成18年度はDVD資料を主体として視聴覚資料の受入が増加に転じている。一時期増加していたCD-ROMを中心とする電子メディアは、電子化情報の主流がネットワーク上のコンテンツに移るにつれて減少傾向にある。

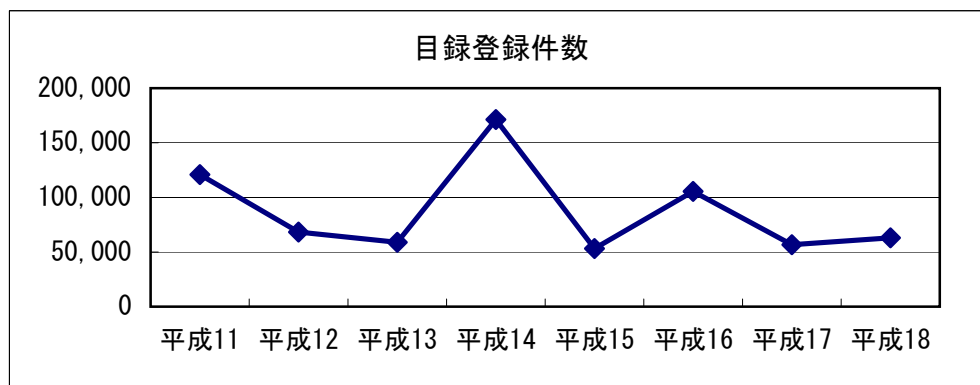
3-3. 目録情報の整備

目録登録の現状

区分	蔵書冊数 (千冊)	登録対象外 (製本雑誌 等)	図書目録DB登録対象冊数(千冊)			未登録率 c/a
			対象冊数 a	内、登録済冊 数 b	内、未登録冊 数 c	
和書	1,514	496	1,018	862	156	15.3%
洋書	1,754	823	931	597	334	35.9%
合計	3,268	1,319	1,949	1,459	490	25.1%

目録登録件数の推移

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館系	51,176	48,149	159,240	44,015	92,083	41,622	51,826
生命系	8,985	3,905	4,707	3,912	8,854	7,186	2,453
吹田系	8,084	6,865	7,309	5,277	4,618	7,937	8,770
全学	68,245	58,919	171,256	53,204	105,555	56,745	63,049



目録登録件数のうち新規受入図書は年間4万冊程度であったが、18年度は約3万冊に減少している。目録登録件数の主な増減は、ほとんど遡及入力に関わる件数である。平成13年度から15年度は外注でカードによる遡及入力を実施している。平成14年度が特に件数が多くなっているのは、13年度の作業分がこの年度に学内登録され、2年分の件数になっているためである。平成16年度からは新たに書庫内研究用図書の現物による遡及入力を開始した。平成16年度の件数が多くなっているのは、15年度のカードによる入力分がこの年に登録されているためである。書庫の遡及入力は平成21年度まで6年計画で実施される予定になっている。

3-4. 施設の整備

3-4-1. 図書館建物整備の経過

昭和35年 3月	中之島分館竣工	2,503 m ²	医・理・歯・微研・蛋白研・医病各分館統合
昭和35年 4月	本館第1期工事完成 (現本館B棟1, 2F)	1,549 m ²	一般教養部北校より移転
昭和41年 3月	本館第2期工事完成 (現本館B棟3, 4F)	1,545 m ²	計 3,094m ²
昭和45年10月	吹田分館竣工(現吹田分館旧館)	2,747 m ²	工学部分館(東野田)産研分館統合
昭和47年 2月	本館第3期工事完成 (現本館C棟、書庫棟の一部)	4,914 m ²	計 7,541m ²
昭和56年 6月	本館書庫棟増築 (現本館書庫棟南側)	1,950 m ²	計 9,488m ²
昭和61年11月	吹田分館新館増築 (現吹田分館新館)	2,423 m ²	計 5,170m ² (2003年改修により5,216m ² に増加)
平成 3年 6月	生命科学図書館(分館)竣工	6,481 m ²	中之島分館より移転 薬学部分館・歯学分室統合
平成12年 3月	本館新館竣工(現本館A棟)	9,432 m ²	計 18,920 m ² 基礎工・理学部図書室統合

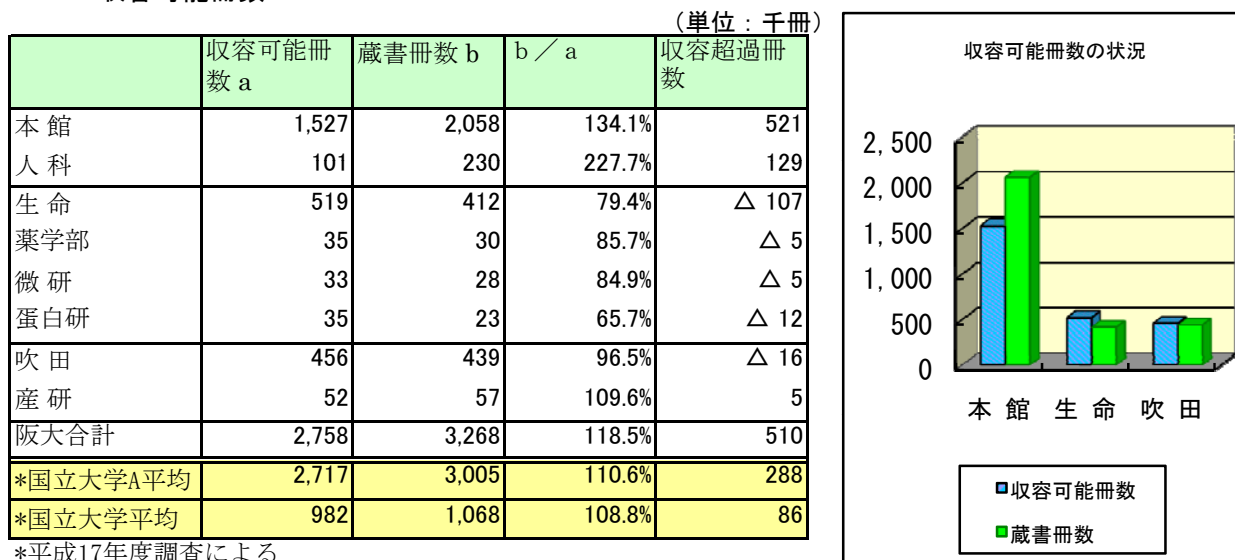
3-4-2. 用途別面積

		本館	生命科学分館	吹田分館	全学（図書室を含む）	*国立大学A規模平均	*全国立大学平均
サービススペース	閲覧スペース	7,012	3,096	2,730	13,448	8,263	3,415
	視聴覚スペース	162	437	176	775	357	180
	情報端末スペース	888	106	46	1,043	440	197
	その他の利用スペース	274	402	228	1,035	1,450	657
管理スペース	所蔵スペース	4,186	0	609	5,582	9,777	3,290
	業務スペース	3,142	1,048	478	4,869	3,068	1,099
その他		3,256	1,392	949	5,771	5,129	1,920
合計		18,920	6,481	5,216	32,523	28,485	10,758

* 国立大学平均は、「平成17年度学術情報基盤実態調査結果報告」による。

附属図書館本館、生命科学分館はそれぞれ全国の国立大学図書館の中で最大規模の本館、医学図書館であるが、大阪大学においては部局図書館・室が極めて少ないため、総面積としては国立大学A規模（8学部以上）の平均をやや上回る程度である。本館と2分館が全学の94%以上と、非常に大きい比率を占めている。スペースの配分から見ると、開架スペースに保管されている蔵書が多いため、全国平均と比べて閲覧スペースの比率が多く、所蔵スペースが少ないことが特徴である。本館においては書庫のスペース不足が問題となっている。

3-4-3. 収容可能冊数



*平成17年度調査による

3-4-4. 閲覧座席数

	利用対象者数* (人) (a)				(b)	(%)	備考
	学生	教員	職員	合計	閲覧座席数	座席率 (b/a)	
*本館系	12,773	831	1,141	14,745	1,343	9.11	本館 人科
*生命系	3,531	836	2,847	7,214	445	6.17	生命科学分館 薬 微研 蛋白研
*吹田系	4,628	848	869	6,345	545	8.59	吹田分館 産研
*合 計	20,932	2,515	4,857	28,304	2,333	8.24	
**国立大学A	265,375	29,523	26,826	321,724	30,557	9.50	
**全国立大学	628,699	61,007	56,501	746,207	68,948	9.24	

*利用対象者数は平成18年5月現在

**平成17年度調査による

図書館の図書収容可能冊数は、本館で大幅な収容超過状態が続いている。平成17年度には本館の電動集密書架増設が認められたが、収容冊数の増加は約1万5千冊であり、大きな改善には至っていない。閲覧座席については、本館では全国立大学平均を上回っているが、分館の座席率が少ないため、大学全体では国立大学平均を下回る数字になっている。平成18年度末には大学統合に備えて本館の閲覧席を約100席増設したが、国立大学平均とはまだ開きがある。大阪大学の場合、図書館の閲覧スペースの比率が大きいため、書架の増設と閲覧座席の増加が両立しないという問題がある。

4-1. 図書館組織及び職員

4-1-1. 図書館組織図 (平成18年度末)

```
graph TD
    S[総長] --- A[附属図書館長]
    S --- B[本館]
    B --- C[事務部長]
    B --- D[副館長]
    C --- E[情報管理課長]
    C --- F[情報サービス課長]
    E --- G[課長補佐]
    E --- H[図書館専門員]
    E --- I[庶務係]
    E --- J[会計係]
    E --- K[図書受入係]
    E --- L[和書目録情報係]
    E --- M[洋書目録情報係]
    E --- N[目録データベース係]
    E --- O["(情報管理課付)"]
    F --- P[図書館専門員]
    F --- Q[資料サービス係]
    F --- R[参考調査係]
    F --- S[雑誌情報係]
    F --- T[相互利用係]
    F --- U[電子情報係]
    B --- V[生命科学分館]
    B --- W[吹田分館]
    V --- X[分館長]
    W --- Y[分館長]
    X --- Z[医学情報課長]
    X --- AA[業務主任併]
    Z --- AB[図書館専門員]
    Z --- AC[図書受入係]
    Z --- AD[図書目録情報係]
    Z --- AE[雑誌情報係]
    Z --- AF[資料サービス係]
    Z --- AG[参考調査係]
    AA --- AH[資料受入係]
    AA --- AI[目録情報係]
    AA --- AJ[資料サービス係]
    B --- AK[人間科学研究科]
    B --- AL[薬学研究科]
    B --- AM[微生物病研究所]
    B --- AN[産業科学研究所]
    B --- AO[蛋白質研究所]
    B --- AP[事務局]
    AK --- AQ[図書室長]
    AL --- AR[図書室長]
    AM --- AS[図書室長]
    AN --- AT[図書室長]
    AO --- AU[図書室長]
    AP --- AV[情報推進部長]
    AQ --- AW[人間科学研究科図書室]
    AR --- AX[薬学部図書室]
    AS --- AY[微生物病研究所図書室]
    AT --- AZ[産業科学研究所図書室]
    AU --- BA[蛋白質研究所図書室]
    AV --- BB[電子図書館班]
```

総長

附属図書館長

副館長

本館 (昭和6.5.設置)

事務部長

情報管理課長

課長補佐

情報サービス課長

図書館専門員

庶務係

会計係

図書受入係

和書目録情報係

洋書目録情報係

目録データベース係

(情報管理課付)

生命科学分館 (平成4.4.設置)

分館長

医学情報課長

業務主任[併]

図書館専門員

図書受入係

図書目録情報係

雑誌情報係

資料サービス係

参考調査係

資料受入係

目録情報係

資料サービス係

吹田分館 (昭和45.10.設置)

分館長

人間科学研究科長

図書室長

人間科学研究科図書室

薬学研究科長

図書室長

薬学部図書室

微生物病研究所長

図書室長

微生物病研究所図書室

産業科学研究所長

図書室長

産業科学研究所図書室

蛋白質研究所長

図書室長

蛋白質研究所図書室

事務局長

情報推進部長

電子図書館班

専任	非常勤
1	
2	1
3	1
2	4
2(1)	1
2	1
1	
1	
1	
3	4
1	1
2	2
1	3
2(1)	
1	
2	3
1	1
2	1
3	5
2	
2	3
1	3
2	
1(1)[兼]	2 (2)
1(1)	1 (1)
1(1)	
1(1)	
1(1)	
2(2)	

合計	
51 (8)	37(3)

- 24

4-1-2. 職員数一覧

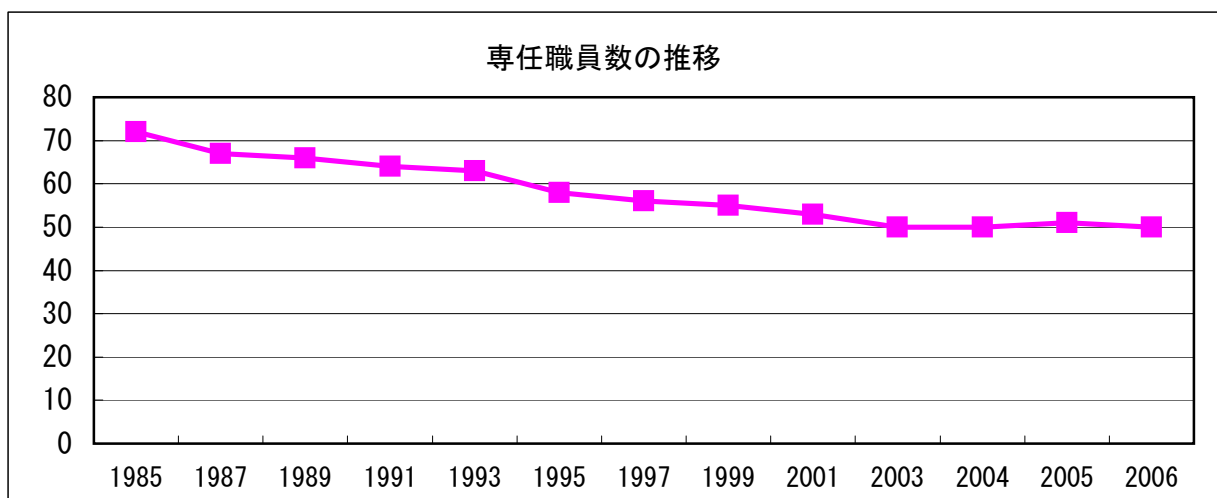
(平成18年度末)

		本館	生命	吹田	人図	薬図	微研	蛋白	産研	サイバー	合計
部長	図書館籍	1									1
課長	図書館籍	2	1								3
課長補佐	図書館籍			1							1
(業務主任)	図書館籍			*1							*1
	部局籍				*1						*1
専門員	図書館籍	2	1								3
係長	図書館籍	11	5	3							19
	部局籍									1	1
係員	図書館籍	8	5	2							15
	部局籍	2				1	1	1	1	1	7
技術職員	図書館籍	1									1
専任職員合計	図書館籍	25	12	6	0	0	0	0	0	0	43
	部局籍	2	0	0	0	1	1	1	1	2	8
	合計	27	12	6	0	1	1	1	1	2	51
非常勤職員	図書館籍	18	10	6							34
	部局籍				2	1					3
	合計	18	10	6	2	1	0	0	0	0	37
職員合計		45	22	12	2	2	1	1	1	2	88
非常勤職員(夜間)	図書館籍	10	8	8							26

*=兼任のため、人数にはカウントしない。

専任職員数の推移

年度	1985	1987	1989	1991	1993	1995	1997	1999	2001	2003	2004	2005	2006
専任職員数	72	67	66	64	63	58	56	55	53	50	50	51	50
指数	100	93	92	89	88	81	78	76	74	69	69	71	69



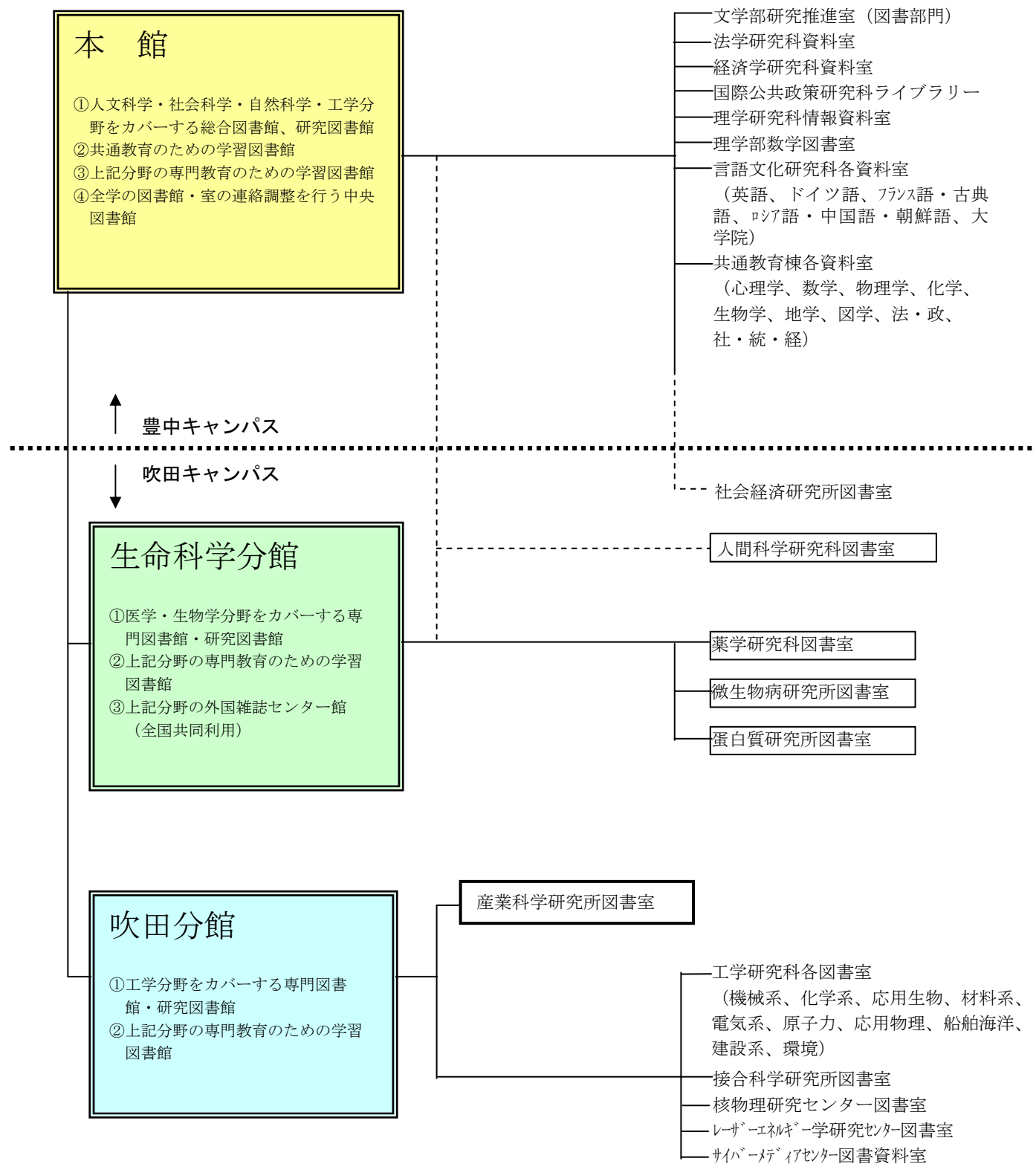
専任職員数は法人化までは公務員の定数削減方針に従って減少を続けており、20年間で約7割となっている。今後も長期的には減少傾向が続くものと予想される。職員数の減少に対応し、業務を集約化して効率化を図るため、平成19年度から事務組織の大幅な改編を行うことが決定している。

4-1-3. 図書館（室）資料室の配置状況

地区の図書館業務を統括処理するセンター・ライブラリー

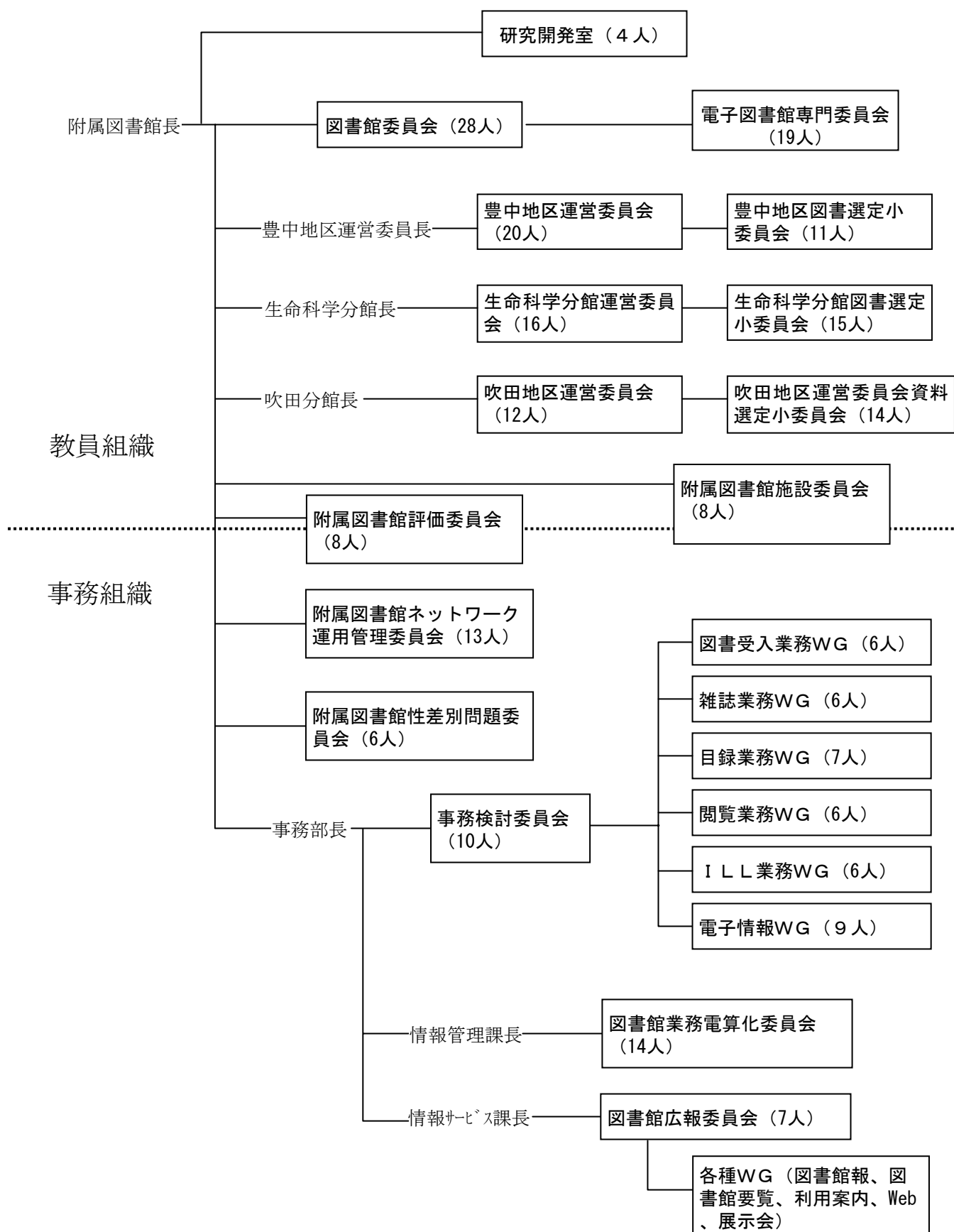
部局における図書業務を処理する
ランチ・ライブラリー

学部・学科等におかれたサービス・ステーション



4-2. 委員会・諸会議

4-2-1. 委員会組織図（平成18年度）



4-2-2. 主要委員会等名簿

1. 図書館委員会委員

部局等	委員名
図書館長（医）	中村仁信（委員長）
副館長（文）	玉井 暲
生命科学分館長（医）	奥山明彦
吹田分館長（工）	平尾俊一
人間科学研究科	釘原直樹
法学研究科	瀧口 剛
経済学研究科	大屋幸輔
理学研究科	伊吹山知義
医学系研究科	磯 博康
医学部附属病院	金倉 讓
歯学研究科	前田芳信
薬学研究科	八木清仁
工学研究科	熊谷貞俊
基礎工学研究科	小林秀敏
微生物病研究所	堀口安彦
産業科学研究所	岩崎 裕
蛋白質研究所	関口清俊
社会経済研究所	芹澤成弘
接合科学研究所	中田一博
言語文化研究科	北村 卓
国際公共政策研究科	黒澤 満
生命機能研究科	井上康志
情報科学研究科	中前孝治
高等司法研究科	吉田光碩
サイバーメディアセンター長	下條真司
総合博物館長	江口太郎
大学教育実践センター長	高杉英一
事務局長	北見耕一（～H18.12.31） 佐々木順司（H19.1.1～）

2. 電子図書館専門委員会委員

部局等	委員名
副館長（文）	玉井 暲（委員長）
豊中地区運営委員会委員長（基）	占部伸二
生命科学分館長（医）	奥山明彦
吹田分館長（工）	平尾俊一
人間科学研究科	釘原直樹
言語文化研究科	北村 卓
法学研究科	瀧口 剛
社会経済研究所	芹澤成弘
理学研究科	伊吹山知義
工学研究科	熊谷貞俊
情報科学研究科	中前孝治
産業科学研究所	岩崎 裕
接合科学研究所	中田一博
歯学研究科	前田芳信
薬学研究科	八木清仁
生命機能研究科	井上康志
微生物病研究所	堀口安彦
蛋白質研究所	関口清俊
サイバーメディアセンター	阿部浩和

3. 研究開発室室員

部局等	委員名
附属図書館長（文）	中村仁信（室長）
文学研究科	湯浅邦弘
サイバーメディアセンター	阿部浩和
基礎工学研究科	塩見英久

4-1. 豊中地区運営委員会委員

部局等	委員名
委員長（基）	占部伸二
文学研究科	玉井 暲 川村邦光
人間科学研究科	釘原直樹 中谷素之
法学研究科	瀧口 剛 上川龍之進
経済学研究科	大屋幸輔 高尾裕二
理学研究科	伊吹山知義 細谷 裕
基礎工学研究科	小林秀敏
言語文化研究科	北村 卓 デビッド・フスキー アクレサントル
社会経済研究所	芹澤成弘 高宮浩司
国際公共政策研究科	黒澤 満
高等司法研究科	山下典孝
大学教育実践センター	望月太郎

4-2. 豊中地区図書選定小委員会委員

部局等	委員名
委員長／基礎工学研究科	占部伸二
文学研究科	玉井 暲
人間科学研究科	釘原直樹
法学研究科	上川龍之進
経済学研究科	高尾裕二
理学研究科	細谷 裕
言語文化研究科	デビッド・フスキー アクレサントル
社会経済研究所	高宮浩司
国際公共政策研究科	黒澤 満
高等司法研究科	山下典孝
大学教育実践センター	望月太郎

5-1. 生命科学分館運営委員会委員

部局等	委員名
生命科学分館長（医）	奥山明彦（委員長）
医学系研究科	金田安史 戸田達史 依藤史郎
医学部附属病院	片山一朗 眞下 節
歯学研究科	丹羽 均
歯学部附属病院	前田芳信
薬学研究科	高木達也 大橋綾子
生命機能研究科	河村 悟 東雄二郎
微生物病研究所	安永照雄 堀口安彦
蛋白質研究所	高木淳一 高橋 聡
人間科学研究科（オブザーバー）	厚東洋輔

5-2. 生命科学分館図書選定小委員会委員

部局等	委員名
生命科学分館長（医）	奥山明彦（委員長）
医学部	片平じゅん
	金田安史
	林 義之
	藤原千恵子
医学部附属病院	片山一朗
	眞下 節
歯学部	丹羽 均
	前田芳信
薬学部	高木達也
	大橋綾子
生命機能研究科	河村 悟
	東雄二郎
微生物病研究所	安永照雄
蛋白質研究所	高橋 聡

6-1. 吹田地区運営委員会委員

部局等	委員名
吹田分館長（工）	平尾俊一（委員長）
工学研究科	熊谷貞俊
	大竹久夫
情報科学研究科	中前幸治
	戸出秀樹
産業科学研究所	岩崎 裕
	吉田陽一
接合科学研究所	中田一博
	巻野勇喜雄
レーザー核融合研究センター	村上博成
核物理研究センター	保坂 淳
サイバーメディアセンター	馬場健一

6-2. 吹田地区運営委員会資料選定小委員会委員

部局等	委員名
吹田分館長（工）	平尾俊一（委員長）
工学研究科	本田孝祐
	三浦 純
	土居伸二
	鈴木 毅
	下田吉之
	大崎博之
情報科学研究科	戸出秀樹
	岩崎 裕
産業科学研究所	吉田陽一
	巻野勇喜雄
接合科学研究所	村上博成
レーザー核融合研究センター	保坂 淳
核物理研究センター	東田 学
サイバーメディアセンター	

4-2-3. 主要委員会開催記録

日程	委員会名称	主要な審議事項	場所	特記事項
2006. 4. 21	図書館委員会（第1回）	1. 平成18年度予算配分（案）について 2. 図書の不用決定について	本館	
2006. 5. 30	電子図書館専門委員会（第1回）	1. 電子ジャーナル経費負担の見直しについて 2. 電子ジャーナル契約タイトルの見直しについて	本館	
2006. 6. 12	吹田地区運営委員会／工学研究科・工学部図書委員会合同委員会（第1回）	1. 吹田分館耐震改修計画（平成19年度概算要求）について 2. 電子ジャーナルの経費負担及び契約タイトルの見直しについて 3. 夏季一斉休業制度の導入及び臨時休館の実施について	吹田分館	
2006. 7. 3	電子図書館専門委員会（第2回）	1. 電子ジャーナル経費負担の見直しについて 2. 電子ジャーナル契約タイトルの見直しについて	本館	
2006. 7. 21	図書館委員会（第2回）	1. 図書館長の選考方法及び館長補佐体制の充実について 2. 電子ジャーナル契約のモデルの変更及び安定財源確保について 3. 図書資産の実査計画について 4. 卒業生への図書の貸し出しについて 5. 学生用図書費の追加配分について	本館	
2006. 7. 24	第40回生命科学分館運営委員会	1. 平成19年度生命科学分館購入雑誌選定について 2. Nature関連誌及びLWW誌電子ジャーナルの全学経費負担化について 3. 平成18年度生命科学分館備付学生用図書及び視聴覚資料の選定について 4. 重点経費による学生用図書の整備について 5. 公用貸出図書資産の実査（蔵書点検）について	生命科学分館	
2006. 7. 26	豊中地区運営委員会（第1回）	1. 豊中地区図書選定小委員会委員の選出について 2. 不用決定基準の運用について 3. 附属図書館豊中地区図書館資料収集方針（案）について 4. 図書資産の点検について 5. 本館利用内規の改正について	本館	
2006. 8. 9	吹田地区運営委員会／工学研究科・工学部図書委員会合同委員会（第2回）	1. 平成18年度学生用図書ほかの選書結果及び予算執行計画について 2. 平成18年度重点経費学生用図書の整備計画について 3. 公用貸出図書資産の実査（蔵書点検）について	吹田分館	
2006. 10. 18	図書館委員会（第3回）	1. 附属図書館諸規則の改正について 2. 電子ジャーナルの安定財源確保について 3. 平成19年度の予算要求について	本館	
2006. 11. 13	豊中地区運営委員会（第2回）	1. 附属図書館諸規則の改正について 2. 特別図書選定に係る選書方針の取扱いについて	本館	
2006. 11. 28	吹田地区運営委員会／工学研究科・工学部図書委員会合同委員会（第3回）	1. 吹田地区運営委員会規定ほか諸規則の改正について 2. 吹田分館耐震改修計画（平成20年度概算要求）について	吹田分館	
2006. 12. 18	電子図書館専門委員会（第3回）	1. 平成19年度のデータベース・サービスについて 2. 今後の電子的な学術情報基盤の整備について	本館	
2006. 1. 22	電子図書館専門委員会（第4回）	1. 平成19年度新規データベースの選定について 2. 物理系学術誌刊行協会EJのサイトライセンス取得について 3. 電子的な学術情報基盤の整備（中間報告）について	本館	
2007. 1. 22	図書館委員会（第4回）	1. 平成19年度予算要求について 2. 平成19年度データベースサービスについて 3. 文献複写サービスの改善について 4. 教員著作の寄贈方促進について 5. 今後の電子的な学術情報基盤の整備について	本館	
2007. 3. 1	電子図書館専門委員会（第5回）	1. データベース利用の促進方策について 2. 物理系学術誌刊行協会EJのサイトライセンス取得について 3. 電子的な学術情報基盤の整備（報告書案）について	本館	
2007. 3. 14	図書館委員会（第5回）	1. 附属図書館諸規程の改正について 2. 大阪外国語大学の教員・学生の利用について 3. データベース利用の促進方策について 4. 今後の電子的な学術情報基盤の整備について	本館	
2007. 3. 15	第41回生命科学分館運営委員会	1. 生命科学分館資料の不用決定について	生命科学分館	
2007. 3. 16	吹田地区運営委員会／工学研究科・工学部図書委員会合同委員会（第4回）	1. 図書の不用決定について	吹田分館	

4-2-4. その他主要行事日誌

日程	区分	内容	場所	特記事項
2006. 4. 14	学外組織会議等	日本医学図書館協会評議員会（第1回）		
2006. 4. 21	学外組織会議等	国立大学図書館協会近畿地区協会総会	京都大学	
2006. 4. 28	学外組織会議等	日本医学図書館協会近畿地区例会（第1回）	天理	
2006. 5. 1	研修講演展示会等	いちよう祭展示会	本館	
2006. 5. 15～17	学外組織会議等	学術コンテンツ運営・連携本部機関リポジトリ作業部会・発表会	国立情報学研究所	
2006. 5. 25	学外組織会議等	外国雑誌センター館会議	東京大学	
2006. 5. 26	学外組織会議等	日本医学図書館協会総会	名古屋	
2006. 5. 26	学外組織会議等	国立大学図書館協会理事会（第1回）	東京大学	
2006. 5. 30	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会（第1回）	関西学院大学 梅田キャンパス	
2006. 6. 2	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（第1回）	神戸大学	
2006. 6. 28	学外組織会議等	国立大学図書館協会マネジメント・セミナー	東京	
2006. 6. 29	学外組織会議等	第53回国立大学図書館協会総会、理事会（第2回）	東京	
2006. 6. 29	学外組織会議等	国立大学図書館協会理事会（第2回）	東京	
2006. 7. 11	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会（第2回）	関西学院大学 梅田キャンパス	
2006. 7. 24	館内会議等	生命科学分館図書選定小委員会	生命科学分館	
2006. 8. 9	館内会議等	吹田地区運営委員会資料選定小委員会	吹田分館	
2006. 8. 23～25	研修講演展示会等	目録システム地域講習会（雑誌コース）	大阪市立大学	講師派遣
2006. 9. 11	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会（第3回）	関西大学	
2006. 9. 15	その他	防災訓練	本館	
2006. 9. 21	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（第2回）	京都大学	
2006. 9. 28	学外組織会議等	国立七大学図書館協議会、館長会議、事務部課長会議	本館	
2006. 9. 29	学外組織会議等	国立七大学図書館事務部長懇談会	本館	
2006. 10. 12～13	研修講演展示会等	学術情報リテラシー教育担当者研修（NIIと共催）	本館	
2006. 10. 20	学外組織会議等	日本医学図書館協会評議員会（第2回）		
2006. 10. 25	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会（第4回）	関西学院大学 梅田キャンパス	
2006. 10. 26	学外組織会議等	国立大学図書館協会理事会（第3回）	東北大学	
2006. 11. 13	館内会議等	豊中地区図書選定小委員会	本館	
2006. 11. 14	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会（第5回）	関西大学	
2006. 11. 15	研修講演展示会等	国際シンポジウム「求められる図書館サービスとスタッフ・ディベロップメント」（NII主催、広島大学・大阪大学・東北大学共催）	本館	
2006. 11. 21～22	研修講演展示会等	大学図書館近畿イニシアティブ初任者研修	関西大学	運営に参加
2006. 11. 26	研修講演展示会等	「高齢化社会と医療」シンポジウム（豊中市と共催）	豊中市中央公民館	
2006. 11. 29	学外組織会議等	日本医学図書館協会近畿地区例会（第2回）		
2006. 12. 1	学外組織会議等	国立大学図書館協会近畿地区協会事務連絡会	京都大学	
2006. 12. 6～7	学外組織会議等	外国雑誌センター館幹事会（第1回）	東京工業大学	
2006. 12. 20	研修講演展示会等	クリスマスコンサート	本館	
2007. 1. 18	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会（第6回）	関西学院大学	
2007. 2. 20	その他	大阪大学学術情報庫（OUKA）正式公開	—	
2007. 2. 28	学外組織会議等	大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（第3回）	大阪市立大学	
2007. 3. 2	学外組織会議等	外国雑誌センター館幹事会（第2回）	東京工業大学	
2007. 3. 15	学外組織会議等	学術コンテンツ運営・連携本部機関リポジトリ作業部会	国立情報学研究所	

図書館関係の委員会では、2-6-3で触れた電子ジャーナルのE-only移行と帰依費負担方式の変更について、電子図書館専門委員会が5回にわたって開催されている。また、図書館委員会もこの件について審議するため、例年よりも多く5回開催された。

その他の行事については、国際シンポジウム、豊中市中央公民館でのシンポジウム、クリスマスコンサート、機関リポジトリ「OUKA」の正式公開などが、例年にない点となっている。

4-3. 能力開発（研修会等への参加）

開催年月日	研修会等名称[主催名]	場 所	参加者数
4/7	ユサコ大阪セミナー[ユサコ]	千里中央	1名
5/22	機関リポジトリワークショップ	千葉大学	2名
6/6	電子情報セミナー2006/2007[丸善]	梅田	2名
6/12	H R A F 講習会	国立民族学博物館	2名
7/3~4	ライブラリ・コネクト・セミナー[エルゼビア]	千里中央	2名
7/3~14	大学図書館職員長期研修	筑波大学ほか	1名
7/27~28	公立大学協会図書館協議会研修会	大阪府立大学	3名
8/2~8/4	第13回医学図書館員基礎研修会	慶應義塾大学信濃町キャンパス	1名
8/3	ジャーナルセミナー[紀伊国屋]	梅田	2名
8/22	シュプリンガー・セミナー2006	千里中央	2名
8/28	J S T O R セミナー[ユサコ]	千里中央	1名
10/2~6	漢籍担当職員講習会（初級）	京都大学	1名
10/3、10/10	サーバ入門研修[館内]	学内	3名
10/10	京都大学図書館機構平成18年度第1回講演会	京都大学	3名
10/11~13	学術情報リテラシー教育担当者研修（NII）	大阪大学（本館）	2名
10/12	資料保存研修（国立国会図書館）	国会図書館関西館	1名
10/17~20	大学図書館職員講習（NII）	京都大学	2名
11/6~10	漢籍担当職員講習会（中級）	京都大学	1名
11/8	京都大学図書館機構平成18年度第2回講演会	京都大学	1名
11/15	国際シンポジウム[NII]	本館	31名
11/16~17	ワークショップ「日本の機関リポジトリ」[CSI事業]	千葉大学	2名
11/21~22	近畿イニシア初任者研修	関西大学	2名
11/30	デジタルライブラリ国際会議	京都大学	1名
12/7	国公私大学図書館協力委員会シンポジウム	慶応大学	1名
12/12	PULCワークショップ「Web of Scienceを最大限に活用するために」（PULC/トムソンサイエンティ	東京コンファレンスセンター品川	1名
12/18~19	NII国際シンポジウム	都市センターホテル（東京）	3名
12/25	接遇研修	学内（本館）	57名
12/28	研修発表会	学内（本館）	約30名
1/12	私立大学図書館西地区部会京都地区協議会第13回相互協力連絡会研修会	同志社大学	1名
2/8~9	DRF第2回ワークショップ	早稲田大学	2名
2/22	レファレンス共同データベース事業参加館フォーラム	国会図書館関西館	1名
2/23	琉球大学学術リポジトリ国際講演会	琉球大学	2名
3/1	EndnoteWeb説明会	京都大学	2名
3/1~3/2	レファレンス研修	国立国会図書館	1名
3/2	京都大学図書館機構 4th Inter-Library Forum	京都大学	2名
3/6	JDreamⅡ研修会（総合コース）	JST西日本支所（肥後橋）	3名
3/8	JDreamⅡ研修会（JMEDPlus）	JST西日本支所（肥後橋）	1名

* 図書館関係の催しのみ記載

図書館職員の研修等への参加は平成17年度に比べると大幅に増加し、回数・人数とも過去最高レベルの実績となっている。接遇研修など、館内で独自の研修を開催したことも特徴的な点である。また12月には、年内の主要研修参加者8名による研修報告会を初めて開催した。

4-4. 図書館経費

4-4-1. 資料購入費

平成18年度資料購入費図書館経費・講座経費別 (単位：千円)

区分	図書館経費	講座経費	合計	図書館経費の比率
図書購入費	119,879	122,432	242,311	49.47%
雑誌購入費	316,363	371,176	687,539	46.01%
その他資料購入費	4,448	3,908	8,356	53.23%
計	440,690	497,516	938,206	46.97%

図書購入費の推移

(単位：千円)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	264,939	230,056	218,893	190,929	169,294	181,355	191,426
生命	8,169	17,893	17,239	8,236	10,258	10,091	14,662
吹田	38,267	36,200	37,193	30,544	25,991	21,906	20,436
その他	47,458	41,165	37,468	42,772	24,793	16,639	15,808
全学	358,833	325,314	310,793	272,481	230,336	229,991	242,332
指数	100	91	87	76	64	64	68

雑誌購入費の推移

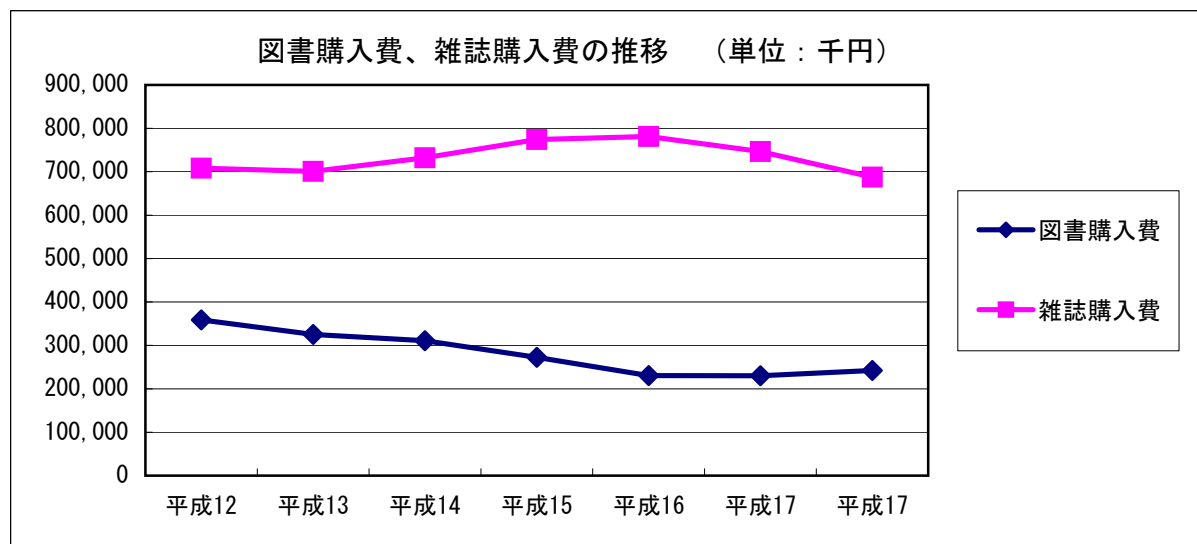
(単位：千円)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	275,524	277,269	292,065	312,796	300,170	258,209	227,674
生命	208,017	200,164	204,605	226,705	238,844	251,029	237,720
吹田	153,003	149,066	151,483	154,451	160,969	157,920	146,295
その他	71,887	74,503	83,949	80,499	81,150	79,371	75,850
全学	708,431	701,002	732,102	774,451	781,133	746,529	687,539
指数	100	99	103	109	110	105	97

諸形態の資料購入費の推移

(単位：千円)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	2,293	2,496	4,637	4,536	4,028	5,654	7,625
生命	716	296	324	550	778	441	57
吹田	487	1,752	663	781	489	873	404
その他	735	1,926	3,956	2,719	222	82	248
全学	4,231	6,470	9,580	8,586	5,517	7,050	8,334
指数	100	153	226	203	130	167	197



資料費総額の推移

(単位：千円)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	542,756	509,821	515,595	508,261	473,492	445,218	426,725
生命	216,902	218,353	222,168	235,491	249,880	261,561	252,439
吹田	191,757	187,018	189,339	185,776	187,449	180,699	167,135
その他	120,080	117,594	125,373	125,990	106,165	96,092	91,906
合計	1,071,495	1,032,786	1,052,475	1,055,518	1,016,986	983,570	938,205
指数	100	96	98	99	95	92	88

電子的情報資料費の推移（資料費の内数）

(単位：千円)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
データベース*	11,828	12,383	11,554	11,339	11,795	11,681	12,007
電子ジャーナル**	—	—	15,732	47,875	72,510	126,221	147,243
合計	11,828	12,383	27,286	59,214	84,305	137,902	159,250
指数	100	105	231	501	713	1,166	1,346

*データベース経費のうち、図書館負担分

**全学的電子ジャーナル経費として計上された金額（サイトライセンス＋パッケージ系電子ジャーナル不足分）

4-4-2. 図書館総経費

運営費の推移

(単位：千円)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	356,205	378,426	379,881	358,160	324,451	340,900	324,120
生命	188,791	188,839	170,223	166,837	172,983	164,613	148,130
吹田	75,704	75,086	76,384	72,163	63,676	72,181	69,075
合計	620,700	642,351	626,488	597,160	561,110	577,694	541,325
指数	100	103	101	96	90	93	87

図書館総経費の推移

(単位：千円)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
本館	621,144	608,482	598,774	549,089	493,745	522,255	515,546
生命	196,960	206,732	187,462	175,073	183,241	174,704	162,792
吹田	113,971	111,286	113,577	102,707	89,667	94,087	89,511
その他	47,458	41,165	37,468	42,772	24,793	16,639	15,808
合計	979,533	967,665	937,281	869,641	791,446	807,685	783,657
指数	100	99	96	89	81	82	80

大学総経費に占める図書館経費の割合

(単位：百万円)

年度	平成12	平成13	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
資料費	1,071	1,033	1,052	1,056	1,017	984	938
割合	1.19%	1.15%	1.18%	1.08%	1.02%	0.85%	0.89%
運営費	621	642	626	597	561	578	541
割合	0.69%	0.72%	0.71%	0.61%	0.57%	0.50%	0.52%
総経費	1,692	1,675	1,679	1,653	1,578	1,562	1,479
割合	1.88%	1.87%	1.89%	1.69%	1.59%	1.34%	1.41%
大学総経費※	90,149	89,650	88,848	97,611	99,290	116,351	105,005

※H16以降は支出決算額

資料費は全体として減少を続けているが、図書購入費が平成11年度に比べて67.5%と、約3分の2にまで減少しているのに比べ、雑誌購入費は約3%減にとどまっている。これは大手出版社の電子ジャーナル継続条件として、購読規模を維持していることが大きな要因となっている。一方で電子ジャーナル維持のためのコストは急増しており、財政的基盤の確立が緊急の課題となっている。図書館運営費は従来から資料費の約半分であり、全国的に見てもきわめて低い水準であったが、法人化後はさらに減少しており、図書館の運営において大きな制約となっている。

4-5. 規則・制度

4-5-1. 平成18年度における図書館諸規則の変更

	施行日付	区分	名称	内容
制定	2006/4/1施行	全館	大阪大学附属図書館貴重図書特別利用規程	貴重図書の利用と料金に関する規程
	2006/4/1施行	全館	大阪大学附属図書館貴重図書貸付規程	貴重図書の貸付と料金に関する規程
	2006/4/1施行	全館	大阪大学附属図書館の保有する個人情報の適切な管理に関する規程	個人情報保護に関する大学規程に対応
改正	2006/9/20施行	全館	大阪大学図書館規程	館長の選考方法を変更 副館長体制を変更
	2006/4/1施行	全館	大阪大学附属図書館利用規程	一般市民への貸出実施
	2006/4/1施行	全館	大阪大学附属図書館文献複写料金後払い実施細則	
	2006/4/1施行	全館	大阪大学附属図書館が所掌する固定資産の管理内規	
	2006/4/1施行	全館	図書館業務電算化委員会設置要項	電子図書館班の組織変更
	2006/4/1施行	全館	図書館広報委員会設置要項	メンバー変更、WGの設置
	2006/4/1施行	全館	附属図書館ネットワーク運用管理委員会要項	電子図書館班の組織変更
	2006/4/1施行	本館	大阪大学附属図書館本館防災管理規程	
	2006/4/1, 8/1施行	本館	大阪大学附属図書館本館利用内規	卒業生、一般市民への貸出実施
	2006/4/1施行	生命	大阪大学附属図書館生命科学分館防災管理規程	
	2006/4/1施行	生命	大阪大学附属図書館生命科学分館利用内規	一般市民への貸出実施
	2006/4/1施行	吹田	大阪大学附属図書館吹田地区運営委員会規程	部局名の変更
	2006/4/1施行	吹田	大阪大学附属図書館吹田分館利用内規	一般市民への貸出実施
	2006/4/1施行	吹田	大阪大学附属図書館吹田分館公用貸出し取扱い要項	部局名の変更

4-5-2. 平成18年度における組織・制度に関する主要事項

館長・副館長体制の変更	図書館の運営体制を見直し、館長選考方法を変更、及び館長補佐体制を強化することが、7月21日の図書館委員会で承認された。変更点は以下のとおり。 ・図書館長を、図書館委員の選挙による選考から、副学長・理事の一人から総長の指名による選考とする。 ・館長が指名する副館長を現行の1名から3名に増やし、それぞれ本館、2分館を担当する体制とする。 ・各分館長はそれぞれの運営委員会で委員の互選により選考する形となっていたが、館長指名により副館長が兼任する形とする。 平成18年度中に必要な規程を変更し、平成19年度より実施することとなった。
各館運営委員会の変更	各館の運営委員会の委員長を、館長の指名する分館長をもって充てることになり、必要な規程の改正準備を行った。 また、豊中地区運営委員会は本館運営委員会に、吹田地区運営委員会は吹田分館運営委員会に、それぞれ名称を変更することになった。（19年度から実施）
事務組織の再編を決定	平成19年度から事務組織を変更し、図書・雑誌受入、目録等の管理業務を本館に集約することになった。学内にWGを作成して組織再編案を検討し、その報告に基づいて「組織再編協議書」を作成、事務局と協議を進めた結果、平成19年4月より、図書館企画課、学術情報整備室、利用支援課、吹田地区図書館サービス課の3課1室からなる体制に変更することが決定。それに伴う分課規程、事務分掌規程等の関連規程改正の準備も行った。

平成18年度は図書館の運営体制についていくつかの大きな変更が決定された。館長は従来図書館委員の互選により選考されていたものが、副学長・理事の一人を総長が指名する形に変更することとなり、次期館長から実施されることになった。また、分館長についても、館長体制の変更に合わせて、上記のように館長の指名する分館長が兼任する形となることになった。これに伴い図書館委員会、各館運営委員会の規程も見直しが行われ、本館、吹田分館では運営委員会自体の名称も変更されることになった。事務組織については、4-1でも触れたように、人員減に対応するため管理業務を本館に集約することとなり、大幅な事務組織の再編を行うこととなった。

このため、平成19年度から附属図書館は、運営組織、事務組織の両面で、従来とは大きく変わった体制で運営されていくことになる。

5. 資料

5-1. 最近の図書館の活動状況

※次の用語は原則として略語としている。「電子ジャーナル」=EJ、「データベース」=DB、「ホームページ」=HP、「サイバーメディアセンター」=CMC

年度	平成14	平成15	平成16	平成17	平成18
利用者サービス	開館日及び時間	・本館で授業休業期の開館時間延長、土日開館試行 ・生命科学分館で8月の開館時間延長、個室等の利用時間延長 ・吹田分館で授業休業期の土日開館試行	・本館で授業休業期の開館時間延長、土日開館実施 ・吹田分館で授業休業期の土日開館実施		
	入館・貸出	・学生証による入館・貸出サービス開始	・本館、吹田分館で自動貸出装置の運用開始 ・教員を対象に貸出図書の返却方法を改善	・卒業生への貸出を開始	・一般市民への貸出を開始 ・卒業生への貸出サービスを拡大
	文献複写・ILL	・Arielの利用促進検討	・ILL複写サービスを改善 ・Arielの利用促進策を実施 ・Webを利用した学外ILL申込みサービス開始		・文献複写料金の改定を決定
	電子情報	・Kluwer, IEEE, ACS等新規EJ導入 ・CMC提供DBと図書館DB検索システムを統合 ・EIU, Ebsco Host, LEX/DB等トライアル実施	・生命科学分館分担金によりEJの導入(OUP, CUP, EMBO, LWW) ・本館内情報検索用機器の利用時間延長 ・INS, DerwentのDBサービス開始 ・WMA, BioOne, IEEE IEL トライアル実施	・EBSCOhost、朝日新聞記事データベース「聞蔵」トライアル実施	・Scopusのサービス開始 ・戦前の朝日・読売新聞、「婦人画報」電子版のサービス開始
	利用者教育	・SciFinder, Web of Science等説明会実施 ・「看護研究方法論」(医学研究科保健学専攻3年次)開始(生命科学分館)	・Web of Science等説明会実施 ・生命科学分館で医学研究科保健学専攻新入生リエンション、「文献検索講習」(附属病院看護師卒後3年)開始	・CrossFire、Scopus等利用説明会実施	・主要出版社EJのE-only化を決定 ・Nature関連誌のEJを導入 ・CMC汎用コンピュータシステムによるDB契約を更新 ・Web of Science SSCI, AHCIのサービス開始
資料の整備	その他	・利用案内英語版新規に作成(生命科学分館)			・学外者向け利用案内を作成(3館)
	蔵書の整備	・旧版参考図書、学位論文、科研費報告書等を新館1階に移動	・中国教育部より図書寄贈 ・適塾資料の寄託に関する3者打ち合わせ(事務局、適塾記念会、附属図書館)	・重点経費配分を受けて学生用図書を整備	・重点経費配分を受けて学生用図書を整備 ・部局を含めた図書資産の実査計画を策定、作業を開始
	目録情報DB整備	・外注による遡及入力実施	・外注による遡及入力実施	・遡及入力第3次計画(書庫内図書の外注による入力)開始 ・NII遡及入力事業「次世代自動登録システム実証実験」に参加	・書庫内図書の外注による遡及入力実施 ・NII遡及入力事業に参加(人文・社会科学系資料)
	情報発信	・学位論文電子化開始、検索サーバ導入	・学位論文要旨集データベース公開	・須田国太郎・狂言デッサン及び赤木文庫古浄瑠璃を電子化 ・NIIのCSI事業に参加し、機関リポジトリ構築に着手	・機関リポジトリ「大阪大学学術情報庫(OUKA)」を公開
	情報環境の整備	・CMCポータルによるDB提供開始	・マルチメディア端末・情報コンセント用ゲストアカウントの運用開始 ・国立大学法人化に対応した図書館業務システム改造	・次期図書館システムをCMC汎用システムと共同で調達することを決定 ・データベース検索システムの一部をCMC端末から利用可能に	・次期汎用コンピュータシステム(図書館システムを含む)仕様をサイバーメディアセンターと共同で検討 ・CMC汎用コンピュータシステムの更新と合わせて、図書館業務システムと電子図書館システムを更新。図書館業務システムはNEC「LICSU-WEB」となる ・本館、吹田分館で無線LANの試験運用を開始
整備	施設・設備	・新館1F集密書架増設(本館) ・吹田分館バリアフリー工事	・吹田分館バリアフリー施設完成	・新館1F集密書架一部増設(本館)	・本館の閲覧席を増設

年度		平成 1 4	平成 1 5	平成 1 6	平成 1 7	平成 1 8
管 理 ・ 運 営	図書館組織	・学術雑誌専門委員会設置 ・CMC豊中新棟が完成し、電子図書館掛が移転	・吹田地区組織WG発足 ・人間科学研究科図書室の業務統合決定	・副館長を設置 ・電子図書館専門委員会、図書館評価委員会、図書館施設委員会設置 ・教育情報室のもとにデジタルコンテンツ委員会設置 ・人間科学研究科図書室業務の多くを生命科学分館に移管	・全学的な組織再編によりデジタルコンテンツ委員会廃止、情報基盤委員会のもとにデジタルコンテンツWG、機関リポジトリWGを設置	・図書館運営体制の変更（館長を総長指名の副学長に、副館長を3人体制にする）を決定 ・図書館事務組織の再編を決定 ・大阪外国語大学附属図書館との統合協議を推進
	諸規程の整備		・国立大学法人化に伴う諸規程の整備 ・LRC、グループ室、個席について利用規程改正（生命科学分館）	・大阪大学図書取扱要領制定 ・不用決定基準等制定 ・各種利用要項改定	・学外者への貸出サービス実施のため利用規程、各館利用内規を改正（平成18年度より実施）	・図書館運営体制の変更、組織再編に伴う規程等の改正を準備
	その他	・中期目標・中期計画案作成 ・入館システム及自動貸出返却装置、EJ概算要求提出	・平成16年度年度計画案策定 ・EJ部局分担方式を策定 ・図書原簿のデータ入力 ・吹田分館改修概算要求提出	・平成17年度年度計画案策定 ・吹田分館改修概算要求提出	・平成18年度年度計画案策定 ・吹田分館改修概算要求提出	・平成19年度年度計画案策定 ・吹田分館改修概算要求提出
そ の 他 の 諸 活 動	図書館関係会議			・国立大学図書館協会総会	・大学図書館近畿イニシアティブ（近畿イニシア）設立準備に加わり、発足後は運営委員会及び能力開発専門委員会に参加	・国立七大学附属図書館協議会 ・近畿イニシアの運営に参加（運営委員会、能力開発専門委員会）
	職員研修	・「電子ジャーナルユーザー教育担当者研修」 ・医学図書館協会研究会・継続コース ・目録システム地域講習会に講師派遣	・大学図書館職員講習会 ・目録システム地域講習会に講師派遣	・学術情報リテラシー担当者研修 ・目録システム地域講習会に講師派遣	・学術情報リテラシー担当者研修 ・目録システム地域講習会に講師派遣 ・学術講演会を開催 ・近畿イニシア初任者研修の企画・運営に参加	・学術情報リテラシー担当者研修 ・目録システム地域講習会に講師派遣 ・国際シンポジウム「求められる図書館サービスとスタッフ・ディベロップメント」開催 ・「高齢化社会と医療シンポジウム」を開催 ・近畿イニシア初任者研修の企画・運営に参加 ・全職員を対象に接遇研修実施
	展示会開催	・いちよう祭展示会を2日間に拡大して開催	・いちよう祭展示会、施設公開実施	・いちよう祭展示会、施設公開実施	・国立京都近代美術館等で開催された須田国太郎展に図書館所蔵のデッサン出展、副館長による講演会開催 ・いちよう祭展示会、施設公開実施	・いちよう祭展示会、施設公開実施 ・「高齢化社会と医療シンポジウム」で資料展示実施
	その他		・本館で利用者アンケート実施	・全学で利用者アンケート実施	・生命科学分館で利用者アンケート実施 ・EUIJ関西・図書館相互利用協定調印	

5-2. 統計表

I 概要

1. 館室の区分は図書館組織構成に基づく。
2. 「サービス対象者数」、「図書館（室）職員数」および「図書館施設」は、平成19年5月1日現在。「資料所蔵数」「資料配置」はそれぞれ平成19年3月31日現在。その他は平成18年度実績を示す。
3. 統計表中、☆印は、当該サービスを実施しているが件数等不明の事項を示す。★印は、当該館室では実施していない、あるいは該当しない事項を示す。

II 項目について

1. サービス対象者数

- ① 学生： 大学院、学部、別科、専攻科、専修学校および各種学校の学生および専科生、聴講生、研究生等（外国人留学生を含む）。
- ② 教員： 専任教員および寄附講座の教員、医員（研修医を含む）。ただし、休職者を除く。
- ③ 職員： 以外の専任職員および臨時職員。ただし、短期のアルバイトおよび休職者を除く。

2. 資料所蔵数

- ① 図書： 製本雑誌を含む。
- ② 雑誌： 新聞を含む。

3. 職員数：図書館・部局図書室の職員数

- ① 専任： 定員内職員、ただし、館長、分館長、室長を除く。他部局籍の者を含み、休職者を除く。
- ② 臨時： 非常勤職員（日々雇用、時間雇用）、ただし、派遣職員および短期のアルバイトを除く。
- ③ フルタイム換算＝臨時職員の1週当たりの勤務時間の合計÷40時間

4. 施設

収容可能冊数＝棚板延長(m)÷0.9m×25冊

5. 文献複写

館内文献複写の件数で、図書館相互貸借のうち文献複写の件数は含まない。

6. 図書館相互貸借のうち文献複写

本学の各図書館（室）に学内外の他の図書館（室）等からILLシステム等により複写申込みがあったものを「受付」、本学の各図書館（室）が学内外の他の図書館（室）等に複写申込みを行ったものを「依頼」として示した。

館(室)名			本館系			生命科学分館系					吹田分館系			合計
項目名			附属図書館	人間科学研究科図書室	小計	生命科学分館	薬学研究科図書室	微研図書室	蛋白研図書室	小計	吹田分館	産研図書室	小計	
			本館											
サー ビス 対象 者数	学 生 (現員 : 人)		11,039	760	11,799	2,874	498	18	5	3,395	5,560	5	5,565	20,759
	うち学部学生		7,552	340	7,892	1,067	183	0	0	1,250	2,802	0	2,802	11,944
	教 員 (現員 : 人)		797	74	871	782	56	93	48	979	791	132	923	2,773
	職 員 (現員 : 人)		1,105	41	1,146	2,697	46	133	129	3,005	722	147	869	5,020
資 料 所 蔵 数	図 書 (冊)	和 漢 書	1,075,935	89,788	1,165,723	127,287	10,285	4,160	2,234	143,966	191,281	12,588	203,869	1,513,558
		洋 書	971,728	140,237	1,111,965	284,296	19,827	23,737	20,965	348,825	248,815	44,587	293,402	1,754,192
		合 計	2,047,663	230,025	2,277,688	411,583	30,112	27,897	23,199	492,791	440,096	57,175	497,271	3,267,750
	雑 誌 (タイトル)	日 本 語	18,004	1,860	19,864	3,655	150	107	90	4,002	3,532	239	3,771	27,637
		外 国 語	13,863	2,105	15,968	13,294	349	486	474	14,603	5,385	964	6,349	36,920
		合 計	31,867	3,965	35,832	16,949	499	593	564	18,605	8,917	1,203	10,120	64,557
	マイクロ資料 (タイトル)	マイクロフィルム	277	219	496	0	0	0	0	0	0	0	0	496
		マイクロフィッシュ	134	913	1,047	19	0	0	0	19	1	0	1	1,067
		合 計	411	1,132	1,543	19	0	0	0	19	1	0	1	1,563
	視聴覚 資 料 (タイトル)	カセットテープ	1,152	36	1,188	88	0	3	0	91	257	0	257	1,536
		ビデオテープ	2,205	1,042	3,247	1,663	0	24	0	1,687	236	0	236	5,170
		CD・LD・DVD	711	208	919	214	0	0	0	214	176	0	176	1,309
		レコード	0	0	0	7	0	0	0	7	0	0	0	7
		映画フィルム	2	25	27	0	0	0	0	0	0	0	0	27
		スライド	311	0	311	7	0	1	0	8	0	0	0	319
		その他	4	0	4	1	0	0	0	1	6	0	6	11
		合 計	4,385	1,311	5,696	1,980	0	28	0	2,008	675	0	675	8,379
	電子 メディア (タイトル)	CD-ROM	1,698	338	2,036	81	0	2	0	83	154	5	159	2,278
		そ の 他	134	6	140	5	0	0	2	7	1	0	1	148
		合 計	1,832	344	2,176	86	0	2	2	90	155	5	160	2,426

館（室）名				本館系			生命科学分館系					吹田分館系			合計	
				附属図書館 本館	人間科学研究科図書室	小計	生命科学分館	薬学研究科図書室	微研図書室	蛋白研図書室	小計	吹田分館	産研図書室	小計		
図書目録		対象図書概数（千冊）		1,949												
		入 力 済 冊 数（冊）		1,071,470	105,125	1,176,595	89,510	5,032	5,410	2,583	102,535	174,155	5,223	179,378	1,458,508	
資料配置	図書	館室配置冊数（千冊）		1,157	74	1,231	375	28	26	21	450	284	38	322	2,003	
		研究室等配置（千冊）		901	156	1,057	37	2	2	2	43	155	19	174	1,274	
	新着雑誌	館室配置冊数（タイトル）		2,089	874	2,963	3,188	210	92	117	3,607	644	126	770	7,340	
		研究室等配置数		6,953	644	7,597	261	4	10	13	288	960	76	1,036	8,921	
職員数	専 任（人）			34.0	0.0	34.0	7.0	1.0	1.0	1.0	10.0	5.0	1.0	6.0	50.0	
	臨時（人）	実 人 員		33.0	2.0	35.0	15.0	1.0	0.0	0.0	16.0	11.0	1.0	12.0	63.0	
		フルタイム換算		20.6	1.5	22.1	7.0	0.8	0.0	0.0	7.8	3.7	0.8	4.5	34.4	
	合計（人）	実 人 員		67.0	2.0	69.0	22.0	2.0	1.0	1.0	26.0	16.0	2.0	18.0	113.0	
		フルタイム換算		54.6	1.5	56.1	14.0	1.8	1.0	1.0	17.8	8.7	1.8	10.5	84.4	
施設	構 造 ・ 階			R3-1 R6	併設	/	R4	併設	併設	併設	/	R3-1	併設	/	/	
				竣 工 年 月			H12.3	S57.4	H3.6	S49.9		S42	S47			S45.8
	利用スペース別面積	利用スペース	閲覧スペース		7,012	100	7,112	3,096	174	36	174	3,480	2,730	126	2,856	13,448
			視聴覚スペース		162	0	162	437	0	0	0	437	176	0	176	775
			情報端末スペース		888	0	888	106	3	0	0	109	46	0	46	1,043
			その他		274	20	294	402	20	21	22	465	228	48	276	1,035
		m ²	計		8,336	120	8,456	4,041	197	57	196	4,491	3,180	174	3,354	16,301
			所蔵スペース m ²		4,186	289	4,475	0	116	147	62	325	609	173	782	5,582
			業務スペース m ²		3,142	59	3,201	1,048	36	36	30	1,150	478	40	518	4,869
			そ の 他 m ²		3,256	75	3,331	1,392	18	81	0	1,491	949	0	949	5,771
	総 延 面 積 m ²			18,920	543	19,463	6,481	367	321	288	7,457	5,216	387	5,603	32,523	
	閱 覧 座 席 数（席）			1,401	45	1,446	363	48	16	18	445	525	20	545	2,436	
	図書収容力	棚板延長（m）		54,981	3,647	58,628	18,678	1,247	1,173	1,271	22,369	16,420	1,879	18,299	99,296	
		収容可能冊数		1,527,250	101,305	1,628,555	518,833	34,639	32,583	35,306	621,361	456,111	52,194	508,305	2,758,221	

館(室)名				本館系			生命科学分館系					吹田分館系			合計
項目名				附属図書館	人間科学研究科図書室	小計	生命科学分館	薬学研究科図書室	微研図書室	蛋白研図書室	小計	吹田分館	産研図書室	小計	
				本館											
資料受入数	図書	購入	和漢書	10,818	663	11,481	1,390	44	3	2	1,439	2,394	68	2,462	15,382
			洋書	3,852	760	4,612	178	3	22	24	227	420	62	482	5,321
			計	14,670	1,423	16,093	1,568	47	25	26	1,666	2,814	130	2,944	20,703
		寄贈等	和漢書	5,451	111	5,562	42	10	1	4	57	171	0	171	5,790
			洋書	2,460	60	2,520	8	0	0	1	9	28	3	31	2,560
			計	7,911	171	8,082	50	10	1	5	66	199	3	202	8,350
		製本編入	日本語	2,227	262	2,489	689	58	28	13	788	257	22	279	3,556
			外国語	3,966	449	4,415	1,624	193	281	329	2,427	1,376	126	1,502	8,344
			計	6,193	711	6,904	2,313	251	309	342	3,215	1,633	148	1,781	11,900
		移動除却等	和漢書	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
				-6,228	-1	-6,229	-1	-1	0	0	-2	-27	0	-27	-6,258
			洋書	2	0	2	0	0	0	0	0	125	0	125	127
				-4,251	-2	-4,253	-11	-1	0	0	-12	-84	-125	-209	-4,474
		上段増下段減	計	3	0	3	0	0	0	0	0	125	0	125	128
				-10,479	-3	-10,482	-12	-2	0	0	-14	-111	-125	-236	-10,732
	雑数	合計	和漢書	12,269	1,035	13,304	2,120	111	32	19	2,282	2,795	90	2,885	18,471
			洋書	6,029	1,267	7,296	1,799	195	303	354	2,651	1,865	66	1,931	11,878
			計	18,298	2,302	20,600	3,919	306	335	373	4,933	4,660	156	4,816	30,349
		購入	日本語	2,166	424	2,590	485	15	11	11	522	577	65	642	3,754
			外国語	2,403	640	3,043	2,270	41	39	43	2,393	704	123	827	6,263
			計	4,569	1,064	5,633	2,755	56	50	54	2,915	1,281	188	1,469	10,017
		寄贈または交換	日本語	3,468	387	3,855	419	132	17	13	581	189	3	192	4,628
			外国語	824	59	883	267	22	35	60	384	102	10	112	1,379
			計	4,292	446	4,738	686	154	52	73	965	291	13	304	6,007
		学内刊行物	日本語	145	8	153	6	2	0	2	10	26	0	26	189
			外国語	16	0	16	2	2	0	1	5	6	1	7	28
			計	161	8	169	8	4	0	3	15	32	1	33	217

館(室)名 項目名				本館系			生命科学分館系					吹田分館系			合計
				附属図書館 本館	人間科学研究科図書室	小計	生命科学 分館	薬学研究科 図書室	微研 図書室	蛋白研 図書室	小計	吹田 分館	産研 図書室	小計	
資料 受 入 数 (続き)	雑誌	合計	日本語	5,779	819	6,598	910	149	28	26	1,113	792	68	860	8,571
			外国語	3,243	699	3,942	2,539	65	74	104	2,782	812	134	946	7,670
			計	9,022	1,518	10,540	3,449	214	102	130	3,895	1,604	202	1,806	16,241
	新聞	購入	日本語	14	3	17	5	0	0	0	5	10	4	14	36
			外国語	13	2	15	3	0	0	0	3	2	1	3	21
			計	27	5	32	8	0	0	0	8	12	5	17	57
	(タイトル)	寄贈	日本語	1	1	2	4	2	3	1	10	0	0	0	12
			外国語	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	2
			計	1	1	2	4	2	4	1	11	1	0	1	14
	(タイトル)	合計	日本語	15	4	19	9	2	3	1	15	10	4	14	48
			外国語	13	2	15	3	0	1	0	4	3	1	4	23
			計	28	6	34	12	2	4	1	19	13	5	18	71
	マイクロ資料	マイクロフィルム		10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
		マイクロフィッシュ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		(タイトル) 合計		10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	電子メディア	CD-ROM		77	3	80	8	0	0	0	8	16	0	16	104
		オンライン		30	0	30	2	0	0	0	2	0	0	0	32
		その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(タイトル)	合計		107	3	110	10	0	0	0	10	16	0	16	136
	視聴覚資料	カセットテープ		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ビデオテープ		30	0	30	35	0	0	0	35	0	0	0	65
		CD・LD		29	0	29	0	0	0	0	0	0	0	0	29
	(タイトル)	DVD		141	6	147	119	0	0	0	119	0	0	0	266
		レコード		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		映画フィルム		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(タイトル)	スライド		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		合計		200	6	206	154	0	0	0	154	0	0	0	360

館(室)名			本館系			生命科学分館系					吹田分館系			合計
項目名			附属図書館 本館	人間科学研究科図書室	小計	生命科学 分館	薬学研究科 図書室	微研 図書室	蛋白研 図書室	小計	吹田 分館	産研 図書室	小計	
開館状況	年間開館総日数		326	227		342	240	243	243		340	242		
	うち	時間外開館日数	229	0		242	★	231	★		164	★		
		土曜開館日数	48	0		49	★	★	★		49	★		
		休日開館日数	49	0		51	★	★	★		49	★		
	年間開館総時間数		3,297	1,816		3,604	1,920	2,291	1,944		3,278	1,917		
	うち	時間外開館時間数	786	0		968	★	347	★		656	★		
		土曜開館時間数	336	0		343	★	★	★		343	★		
		休日開館時間数	343	0		357	★	★	★		343	★		
入館者数	学内者		494,786	25,341	520,127	140,969	☆	13,306	8,451	162,726	185,078	☆	185,078	867,931
	うち	学部学生	370,646	☆	370,646	90,652	☆	☆	☆	90,652	122,471	☆	122,471	583,769
		大学院生等	107,124	☆	107,124	29,277	☆	☆	☆	29,277	50,933	☆	50,933	187,334
		教職員	17,016	☆	17,016	21,040	☆	☆	☆	21,040	11,674	☆	11,674	49,730
	学外者		11,519	146	11,665	9,738	123	27	19	9,907	4,924	☆	4,924	26,496
	うち	他大学の学生	1,012	64	1,076	489	54	2	4	549	385	☆	385	2,010
		他大学の研究者	385	22	407	151	4	0	1	156	238	☆	238	801
		大学以外の研究者	232	2	234	152	2	3	8	165	652	☆	652	1,051
		その他の学外者	9,890	58	9,948	8,946	63	22	6	9,037	3,649	☆	3,649	22,634
	合計		506,305	25,487	531,792	150,707	123	13,333	8,470	172,633	190,002	☆	190,002	894,427
館外個人貸出	人数	学生	122,125	3,325	125,450	10,851	401	81	89	11,422	46,219	150	46,369	183,241
		うち学部学生	76,788	1,833	78,621	7,714	170	☆	18	7,902	25,056	23	25,079	111,602
		教職員	7,872	289	8,161	2,145	60	98	86	2,389	3,587	89	3,676	14,226
		学外者	1,332	125	1,457	215	★	★	★	215	244	19	263	1,935
		計	131,329	3,739	135,068	13,211	461	179	175	14,026	50,050	258	50,308	199,402
	冊数	学生	146,434	6,505	152,939	20,330	566	93	118	21,107	49,723	199	49,922	223,968
		うち学部学生	85,304	3,562	88,866	13,949	224	☆	23	14,196	26,452	28	26,480	129,542
		教職員	25,744	613	26,357	4,723	101	140	130	5,094	4,534	121	4,655	36,106
		学外者	1,814	326	2,140	496	★	★	★	496	311	24	335	2,971
		計	173,992	7,444	181,436	25,549	667	233	248	26,697	54,568	344	54,912	263,045

☆印 実施しているが件数等不明の事項

★印 当該館室では実施していない事項

館(室)名 項目名			本館系			生命科学分館系					吹田分館系			合計
			附属図書館	人間科学研究科図書室	小計	生命科学分館	薬学研究科図書室	微研図書室	蛋白研図書室	小計	吹田分館	産研図書室	小計	
			本館											
参考業務	利用者別	教職員	479	☆	479	2,118	☆	☆	☆	2,118	1,402	74	1,476	4,073
		学 生	3,151	☆	3,151	3,184	☆	☆	☆	3,184	3,363	79	3,442	9,777
		学 外 者	1,680	☆	1,680	952	☆	☆	☆	952	994	0	994	3,626
	業務内容別	文献所在調査	2,880	58	2,938	1,932	☆	☆	☆	1,932	2,884	50	2,934	7,804
		事項調査	334	0	334	281	☆	☆	☆	281	970	8	978	1,593
		利用指導	2,096	945	3,041	2,947	☆	☆	☆	2,947	1,905	35	1,940	7,928
		そ の 他	0	0	0	1,094	☆	☆	☆	1,094	0	60	60	1,154
		合 計	5,310	1,003	6,313	6,254	☆	☆	☆	6,254	5,759	153	5,912	18,479
データベース 検索	代行検索		0	★	0	412	★	★	★	412	0	★	0	412
	CD-ROM(単体)		2,199	☆	2,199	0	★	★	★	0	321	★	321	2,520
	ネットワーク		220,426											220,426
OPAC利用	館内専用端末		472,178											472,178
	学内(専用端末を除く)		638,262											638,262
	学外		321,021											321,021
文献複写	利用者別	部 内	10,066	10,835	20,901	40,981	31,224	9,140	12,997	94,342	7,261	1,492	8,753	123,996
		学 内	3,135	35	3,170	4,440	122	139	63	4,764	745	374	1,119	9,053
		学 大 学	629	0	629	863	58	7	★	928	21	★	21	1,578
		学 外 其 他	685	0	685	83,548	142	39	★	83,729	171	★	171	84,585
	(件)	合 計	14,515	10,870	25,385	129,832	31,546	9,325	13,060	183,763	8,198	1,866	10,064	219,212

☆印 実施しているが件数等不明の事項 ★印 当該館室では実施していない事項

項 目 名				館 (室) 名			生 命 科 学 分 館 系					吹 田 分 館 系			合 計		
				本 館		系	小計	生命科学 分館	薬学研究科 図書室	微研 図書室	蛋白研 図書室	小計	吹田 分館	産研 図書室		小計	
				附属図書館 本館	人間科学研 究科図書室												
図 書 館	現 物 出	貸 出	学 内		776	442	1,218	93	1	12	0	106	321	8	329	1,653	
			学 大 学	687	★	687	134	★	★	★	134	64	★	64	885		
			外 その他	90	★	90	14	★	★	★	14	8	★	8	112		
			国 外	5	★	5	0	★	★	★	0	0	★	0	5		
		合 計		1,558	442	2,000	241	1	12	0	254	393	8	401	2,655		
	貸 借 (冊)	借 受	学 内		734	225	959	195	9	10	1	215	258	25	283	1,457	
			学 大 学	1,147	★	1,147	403	★	17	★	420	71	16	87	1,654		
			外 その他	49	★	49	18	★	0	★	18	1	1	2	69		
			国 外	1	★	1	0	★	★	★	0	0	★	0	1		
		合 計		1,931	225	2,156	616	9	27	1	653	330	42	372	3,181		
	相 互 貸 借	文 献 付	受 付	学 内		563	538	1,101	296	54	23	53	426	197	16	213	1,740
				学 大 学	3,391	★	3,391	28,914	★	★	★	28,914	2,298	★	2,298	34,603	
				外 その他	425	★	425	7,342	71	★	★	7,413	349	★	349	8,187	
				国 外	121	★	121	9	★	★	★	9	0	★	0	130	
			合 計		4,500	538	5,038	36,561	125	23	53	36,762	2,844	16	2,860	44,660	
		複 写 (件)	依 頼	学 内		617	138	755	159	16	34	21	230	246	28	274	1,259
				学 大 学	2,749	★	2,749	4,276	71	87	12	4,446	1,076	50	1,126	8,321	
				外 その他	398	★	398	109	1	6	0	116	175	1	176	690	
				国 外	28	★	28	50	★	★	★	50	14	★	14	92	
			合 計		3,792	138	3,930	4,594	88	127	33	4,842	1,511	79	1,590	10,362	
経 費	資料費 (千円)	図 書		191,426	12,331	203,757	14,662	618	484	508	16,272	20,436	1,867	22,303	242,332		
		雑 誌		227,674	33,106	260,780	237,720	8,213	5,250	7,198	258,381	146,295	22,083	168,378	687,539		
		そ の 他		7,625	248	7,873	57	0	0	0	57	404	0	404	8,334		
		合 計		426,725	45,685	472,410	252,439	8,831	5,734	7,706	274,710	167,135	23,950	191,085	938,205		
	製 本 費 (千円)		12,953	1,180	14,133	3,850	493	571	633	5,547	3,457	46	3,503	23,183			

☆印 実施しているが件数等不明の事項

★印 当該館室では実施していない事項

平成18年度 大阪大学附属図書館年次報告・
自己点検評価報告書

2008年 2月 発行

編 集 大阪大学附属図書館評価委員会

発 行 大阪大学附属図書館

〒560-0043 豊中市待兼山町1－4

電話 (06)6850-6111 (代)

Fax (06)6850-5052

<http://www.library.osaka-u.ac.jp/>